

添付図 6・1 吹田佐竹台住宅
事業区域ボーリングデータ(1)



調査位置平面図 (佐竹台 5丁目: 39棟, 40棟, 41棟) (S=1/500)

工 事 名 称	大阪府吹田市長佐竹台住宅第2期 附属工事調査位置図		
図 面 名 称	調査位置平面図	縮 尺	S=1/500
		図面番号	2/2
昭 和 62年 8月 日	照 査	設 計	
中央開発株式会社大阪事業部			

大阪府千早赤松村 吹田佐竹台住宅
 調査地点 大阪府吹田市中 佐竹台5丁目
 ホーリング孔: No. 5 (39棟)
 機種 KR-50
 標高 OP+37.146 m
 調査員 池田 浩一

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			貫入試験	採取試料・要目	方法
				土質記号	土質名	色調			
0	36.746	0.40	0.40	シルト	灰		0		
1	36.146	1.00	0.60	砂混り粘土	暗黄	行風じり粘土	5	1.45	P-1
2	35.346	1.80	0.80	粘土混り砂	黄	全体に有機物混入。	6	2.20	P-2
3					青	細~中粒混入。	4	2.85	P-3
4					灰		3	3.70	P-4
5							3/35	4.90	K-1
6	31.246	5.90	4.10	砂混り粘土	淡黄	非常に硬質の粘土。	5	5.65	P-5
7	29.646	7.50	1.60	粘土	黄	混入物の小く均一である。	13	6.40	P-7
8	29.346	7.80	0.30	砂質粘土	黄	細粒主体、色調濃淡あり	20	7.15	P-8
9				砂	黄	砂は細粒とし、廻り中粒を混入する。	40	7.90	P-9
0	27.346	9.80	2.00	粘土	青	硬質の粘土	60/26	8.65	P-10
1	27.146	10.00	0.20	砂質粘土	黄	砂は散細粒~細粒主体	60/27	9.40	P-11
2	26.546	10.60	0.60	粘土	青	非常に均一な粘土	24	10.15	P-12
3	24.846	12.30	1.70		黄		33	11.10	P-13
4	24.146	13.00	0.70		黄		36	11.85	P-14
5				砂	淡黄	上部より層状に混入	39	12.40	P-15
6	20.746	16.40	3.40			砂は細~中粒主体、色調濃淡あり。	60/29	13.15	P-16
7							60/21	14.11	P-17
8							60/20	14.65	P-18
9							60/15	15.40	P-19
0							60/25	16.15	P-20



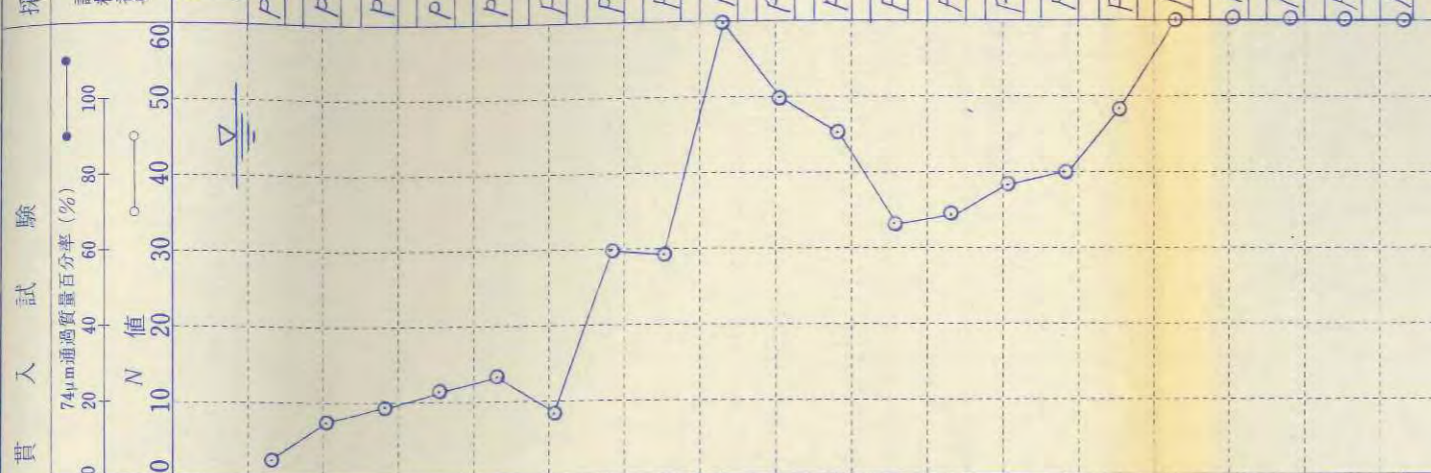
添付図 6.1 吹田佐竹台住宅
 事業区域ボーリングデータ(2)

備考
 注1) 試料採取方法の記号
 T: シンクウォールサンブラー F: フォイルサンブラー
 P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
 D: デニソン型サンブラー
 注2) 原位置試験方法の記号
 K-1: 孔内水平荷重試験

調査地点 大阪府吹田市中佐竹台5丁目
ボーリング孔: No. 6 (39棟) 機種 KR-50

標高 OP+36.978 m 孔内水位(自然,泥) GL-0.85 m 調査責任者 渋谷 岩人

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			採取試料・原位置試験	注1) 方法
				土質記号	土質名	色調		
0	36.478	0.50	0.50	粒土	黄褐		試験掘	P-1
1	35.478	1.50	1.00	砂混じり粘土	青	草根混入 粘土主体とし少量の砂混入		P-2
2						非常に均一な粘土、 混入物なし。		P-3
3				粘土	灰			P-4
4								P-5
5	31.478	5.30	3.80	粘土質砂	黄灰	砂は粘土主体とし色調に 差違がある。		P-6
6	30.778	6.20	0.90	砂質粘土	黄褐	砂は粘土主体。		P-7
7	30.178	6.80	0.60	砂	淡黄灰	全体的に均等粒径の砂で 稜角性を示す。		P-8
8	28.078	8.90	2.10	粘土	青灰	非常に硬質な粘土で 混入物なく均一である。		P-9
9						色調濃淡あり。		P-10
0						下部は割合多くなる。		P-11
1	25.578	11.40	2.50	砂混じり粘土	黄灰			P-12
2	24.878	12.10	0.70	砂	淡黄灰	砂は細〜中粒を主体とし 下部部に比べて中粒が多 くなる。		P-13
3								P-14
4								P-15
5								P-16
6	20.528	16.45	4.35	茶淡灰				P-17
7								P-18
8								P-19
9								P-20
0								P-21



添付図 6.1 吹田佐竹台住宅
事業区域ボーリングデータ (3)

備考

注1) 試料採取方法の記号
T: シンクウォールサンプラー
P: 標準貫入試験用サンプラー
D: デニソン型サンプラー

注2) 原位置試験方法の記号
F: フォイナルサンプラー
O: オーガー

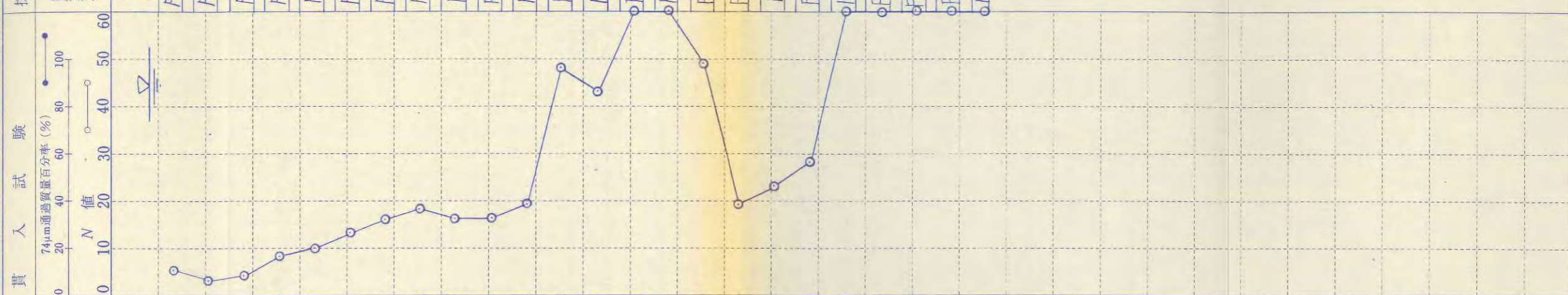
標尺 m	高さ m	深さ m	層厚 m	観察記録			貫入試験	採取試料・原位置試験			
				土質記号	土質名	色調					
0	40.899	0.35	0.35	粘土質砂	砂	褐	1.15 ~1.45	試掘	74μm通過質量百分率(%) N値	深さ m 方法	
1	39.249	2.00	1.65	シルト質粘土	暗褐		1.90 ~2.20			P-1 1.00 ~1.50	P
2	38.099	3.15	1.15	粘土質シルト	暗		2.65 ~2.95			P-2 1.75 ~2.25	P
3							3.40 ~3.70			P-3 2.50 ~3.00	P
4							4.15 ~4.45			P-4 3.25 ~3.75	P
5							4.90 ~5.20			P-5 4.00 ~4.50	P
6							5.65 ~5.95			P-6 4.75 ~5.25	P
7	34.349	6.90	3.75	粘土	灰		6.40 ~6.70			P-7 5.50 ~6.00	P
8							7.15 ~7.45			P-8 6.25 ~6.75	P
9							7.90 ~8.20			P-9 7.00 ~7.50	P
0							8.65 ~8.95			P-10 7.75 ~8.25	P
1	29.949	11.30	4.40	粘土質砂	黄褐		9.40 ~9.70			P-11 8.50 ~9.00	P
2	29.499	11.75	0.45	砂	灰褐		10.15 ~10.45			P-12 9.25 ~9.75	P
3	27.599	13.65	1.90	粘土質シルト	暗褐		10.90 ~11.19			P-13 10.00 ~10.50	P
4	26.949	14.30	0.65	シルト	灰		11.65 ~11.94			P-14 10.75 ~11.19	P
5	26.399	14.85	0.55	粘土	青灰		12.40 ~12.69			P-15 11.50 ~11.94	P
6	25.449	15.80	0.95	粘土質砂	褐		13.15 ~13.44			P-16 12.25 ~12.69	P
7	23.849	17.40	1.05	砂	灰		13.90 ~14.20			P-17 13.00 ~13.44	P
8	23.499	17.75	0.35	シルト	褐		14.65 ~14.95			P-18 13.75 ~14.25	P
9							15.40 ~15.70			P-19 14.50 ~15.00	P
0	21.179	20.07	2.32	砂	灰褐		16.15 ~16.45			P-20 15.25 ~15.75	P
1							16.90 ~17.14			P-21 16.00 ~16.50	P
2							17.65 ~17.94			P-22 16.75 ~17.14	P
3							18.40 ~18.63			P-23 17.50 ~17.94	P
4							19.15 ~19.39			P-24 18.25 ~18.63	P
5							19.90 ~20.07			P-25 19.00 ~19.39	P
6										P-26 19.75 ~20.07	P

添付図 6.1 吹田佐竹台住宅 事業区域ボーリングデータ(4)

ボーリング孔: No. 8 (40 棟) KR-50

孔内水位(自然, 泥) GL - 0.80 m

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観		土質記号	土質名	色調	記 事	深さ m	打撃回数/貫入量 回/cm	標 準 貫 入 試 験			74 μ m通過質量百分率(%) N 値	採取試料・原位置試験	
				土質記号	土質名							10 cm ことの打撃回数	10 cm	20 cm		30 cm	試料番号
0	40.782	0.40	0.40					灰			5	1	2	2			
1	40.532	0.65	0.25					黄	砂は細~中砂主体。有機物混入。色調の変化あり。細砂混入。	1.15 ~1.45	3	1	1	1		P-1	掘
2	40.582	0.80	0.20					青		1.90 ~2.20	4	1	1	2		P-2	P
3	39.682	1.50	0.70					黄	0.00~4.50m間は比較的多い粘土である。	2.65 ~2.95	8	2	2	4		P-3	P
4								青	4.50~8.50m間は混入物が非常に少なく、硬い粘土である。	3.40 ~3.70	10	2	4	4		P-4	P
5								灰	8.50m以深は所々に細砂をレンズ状にはさまむ。	4.15 ~4.45	13	3	4	6		P-5	P
6										4.90 ~5.20	16	4	6	6		P-6	P
7										5.65 ~5.95	18	5	6	7		P-7	P
8										6.40 ~6.70	16	5	5	6		P-8	P
9										7.15 ~7.45	16	4	6	6		P-9	P
0	31.382	9.80	8.30					黄	9.5m以深は色調が変化し、固結した粘土である。	7.90 ~8.20	48	10	18	20		P-10	P
1	30.832	10.35	0.55					灰	細砂混入。色調の濃淡あり。	8.65 ~8.95	43	10	8	25		P-11	P
2	29.882	11.30	0.95					黄	10.90 ~11.12	60/22	23	29	8/2		P-12	P	
3	29.682	11.50	0.20					灰	粘土質砂	11.65 ~11.94	60/29	18	21	21/9		P-13	P
4	28.582	12.40	1.10					淡黄	粘土質砂	12.40 ~12.70	49	19	22	10		P-14	P
5	26.882	14.30	1.70					黄	上部は砂質粘土である。所に砂質粘土をレンズ状にはさまむ。	13.15 ~13.45	19	5	6	8		P-15	P
6	25.782	15.40	1.10					灰	非常に硬い。細砂が不均等に混入。	13.90 ~14.20	23	7	8	8		P-16	P
7										14.65 ~14.95	28	8	10	10		P-17	P
8										15.40 ~15.66	60/26	18	25	17/6		P-18	P
9	22.582	18.60	3.20					黄	全体は少量の粘土を含む。細砂が主体。	16.15 ~16.45	61	16	20	25		P-19	P
0								灰	17.50m以深は中砂が主体である。	16.90 ~17.18	40/28	19	23	18/6		P-20	P
1										17.65 ~17.79	60/14	41	19/4			P-21	P
2										18.40 ~18.57	60/19	31	29/9			P-22	P
3																P-23	P
4																P-24	P



添付図 6.1 吹田佐竹台住宅 事業区域ボーリングデータ(5)

備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンワールサンブラー F: フェイルサンブラー
P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

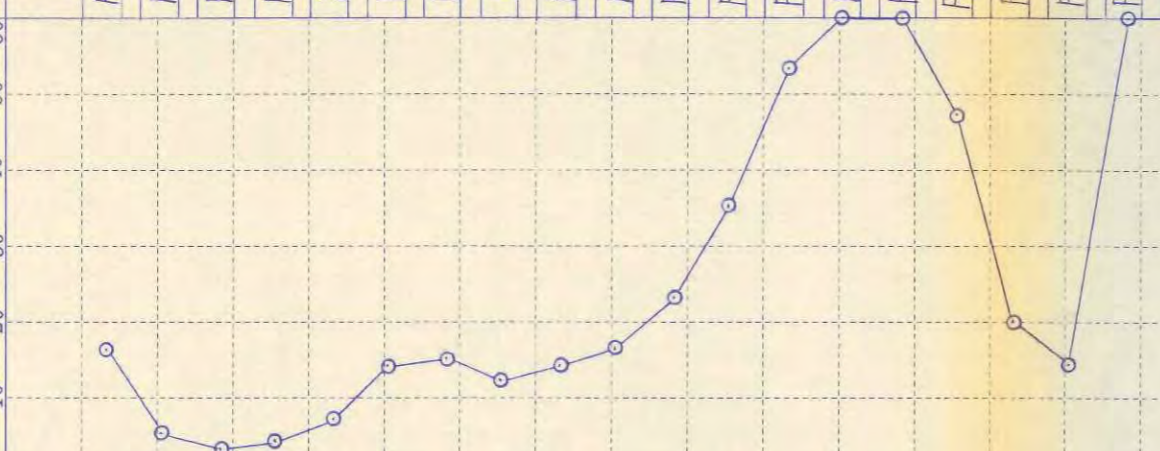
標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			標準貫入試験			採取試料・原位置試験 試料番号 深さ m 方法 (注1) (注2)				
				土質記号	土質名	色調	記事	打撃回数 貫入量 回/cm	10 cm 打撃回数 10 cm 20 cm 30 cm		74μm通過質量百分率 (%) N 値			
0	43.709	0.40	0.40		粘土	褐	砂草根が混入。粘砂主体。部分的に粘土を含まない。風化しき点。	6	2 2 2	0	試掘	P-1 1.00 ~1.50	P	
1	42.459	1.65	1.25		砂	褐		3	1 1 1	0		P-2 1.75 ~2.25	P	
2	41.059	3.05	1.40		粘土質シルト	暗灰	所々に微細砂をばさむ。雲母片、有機物が点在。部分的に粘土分を含む。	4	1 2 1	0		P-3 2.50 ~3.00	P	
3							硬い粘土である。5.5~3.5cm間に微細砂あるいはシルトが混入。少量の有機物点在する。	10	3 3 4	0		P-4 3.25 ~3.75	P	
4												K-1 4.00 ~4.75	LLT	
5												P-5 4.75 ~5.25	P	
6							粘土が主体。雲母片が少量混入する。	16	5 6 5	0		P-6 5.50 ~6.00	P	
7					粘土	青灰		22	5 7 10	0		P-7 6.25 ~6.75	P	
8							中層より微細砂の混入が少くなる。	17	5 5 7	0		P-8 7.00 ~7.50	P	
9								16	6 5 5	0		P-9 7.75 ~8.25	P	
0								17	5 6 6	0		P-10 8.50 ~9.00	P	
1								22	6 7 9	0		P-11 9.25 ~9.75	P	
2	32.259	11.85	8.80		砂	灰褐	細砂主体。若干の粘土分を含む。	21	6 8 7	0		P-12 10.00 ~10.50	P	
3							下部は中砂主体。粗砂および2~10mmの礫が点在。	37	12 13 12	0		P-13 10.75 ~11.25	P	
4	29.859	14.25	2.40		砂	褐		42	9 14 19	0		P-14 11.50 ~12.00	P	
5	28.959	15.15	0.90		粘土	褐	非常に小さく、所々に少量の有機物が点在する。微細砂が混入。	24	7 8 9	0		P-15 12.25 ~12.75	P	
6	28.509	15.60	0.45		シルト	青灰	雲母片混入。粘土が主体。	29	9 9 11	0		P-16 13.00 ~13.50	P	
7	28.209	15.90	0.30		粗砂	灰	粗砂、細砂混入。	48	11 20 17	0		P-17 13.75 ~14.25	P	
8	27.409	16.70	0.80		砂混じり粘土	灰		18	5 6 7	0		P-18 14.50 ~15.00	P	
9	27.109	17.00	0.30		シルト	褐	有機物混入。	31	4 9 18	0		P-19 15.25 ~15.75	P	
0	26.309	17.80	0.80		粘土	褐	細砂混入。	60/25	17 23 20/5	0		P-20 16.00 ~16.50	P	
1	23.709	20.40	2.60		砂	暗褐	中砂主体。少量の細砂が混入。	60/24	19 27 14/4	0		P-21 16.75 ~17.25	P	
2	23.359	20.75	0.35		粘土質砂	褐	下部は細砂主体。	46	6 15 25	0		P-22 17.50 ~18.00	P	
3	22.859	21.15	0.40		砂	灰	細砂主体。粘土混入。	46	6 15 25	0		P-23 18.25 ~18.75	P	
4	22.609	21.50	0.35		粘土質砂	暗	細砂主体。2cm程度の粘土をばさむ。	48	8 16 24	0		P-24 19.00 ~19.50	P	
5	22.159	21.95	0.45		砂	暗	細砂主体。	60/29	13 19 28/9	0		P-25 19.75 ~20.25	P	
6	21.729	22.38	0.43		粘土	灰	細砂混入。有機物点在	60/23	23 26 11/3	0		P-26 20.50 ~21.00	P	
7												P-27 21.25 ~21.75	P	
8												P-28 22.00 ~22.50	P	
9														
0														

添付図 6.1 吹田佐竹台住宅 事業区域ボーリングデータ(6)

備考
 注1) 試料採取方法の記号
 T: シンクウォールサンブラー F: ファイルサンブラー
 P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
 D: デニソン型サンブラー
 注2) 原位置試験方法の記号
 K-1: 孔内水平載荷試験

ボーリング孔: No. 10 (41棟) 機種 KR-50 孔内水位(自然, 泥) m

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			標準貫入試験			採取試料・原位置試験									
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数	74μm通過質量百分率 (%)	試料番号	深さ m	方法						
0																			
1	42.967	1.00	1.00		粘土	黄灰	粘土主体。	1.15 ~1.45	16	5	5		P-1	1.00 ~1.50	P				
2	41.467	2.50	1.50		粘土混り砂	青灰	有機物混入。 細~中砂主体。	1.90 ~2.20	5	2	2		P-2	1.75 ~2.25	P				
3	40.967	3.00	0.50		砂混り粘土	暗青灰	有機物混入。	2.65 ~2.95	3	1	1		P-3	2.50 ~3.00	P				
4	40.667	3.30	0.30		粘土混り砂	青灰	細~中砂主体	3.40 ~3.70	4	1	2		P-4	3.25 ~3.75	P				
5						黄灰	3.30~3.80m間に有機物混入。 粘土のコンシステンシーは不均一である。	4.15 ~4.45	7	2	3		P-5	4.00 ~4.50	P				
6					粘土	青灰	6.00m以深は混入物が少ない。	4.90 ~5.20	14	4	5		P-6	4.75 ~5.25	P				
7								5.65 ~5.95	15	4	5		P-7	5.50 ~6.00	P				
8								6.40 ~6.70	12	3	4		P-8	6.25 ~6.75	P				
9	34.867	9.10	5.80		粘土		8.00m以深は固結粘土である。所々に微細砂が混入。	7.15 ~7.45	14	4	5		P-9	7.00 ~7.50	P				
0	34.567	9.60	0.50		砂混り粘土			8.65 ~8.95	23	7	8		P-10	8.25 ~8.75	P				
1	33.967	10.00	0.40		粘土			9.40 ~9.70	35	12	13		P-11	8.50 ~9.00	P				
2					砂		砂と粘土の互層状硬質で混入物が少ない。	10.15 ~10.45	53	13	18		P-12	9.25 ~9.75	P				
3	31.167	12.80	2.80		粘土	黄灰	10.00~11.00m間は細砂主体。含水が少ない。 11.00~12.20m間は粗中砂主体。 12.20m以深は中~粗砂主体。	10.90 ~11.27	60/27	20	24	16/7	P-13	10.00 ~10.50	P				
4							硬質な粘土である。所々に砂質粘土を含まむ。	11.65 ~11.94	47	14	16	17	P-14	10.75 ~11.25	P				
5	29.467	14.50	1.70		粘土		細砂主体。含水が少ない。色調濃淡あり。	12.40 ~12.70	20	6	7	7	P-15	11.50 ~12.00	P				
6	28.167	15.80	1.30		砂		所々に細砂混入。	13.90 ~14.20	14	4	5	5	P-16	12.25 ~12.75	P				
7	27.817	16.15	0.35		粘土		砂は粗~粗砂主体で不均一である。所々に砂質粘土とシルト状を含まむ。	14.45 ~14.88	60/23	23	26	11/3	P-17	13.00 ~13.50	P				
8	26.067	17.90	1.75		砂			15.40 ~15.69	60/29	19	20	21/9	P-18	13.75 ~14.25	P				
9								16.15 ~16.39	60/24	20	27	13/4	P-19	14.50 ~15.00	P				
0								16.70 ~17.18	60/28	21	20	19/6	P-20	15.25 ~15.75	P				
1								17.45 ~17.70	60/25	22	25	13/5	P-21	16.00 ~16.50	P				
2													P-22	16.25 ~17.25	P				
3													P-23	17.50 ~17.90	P				



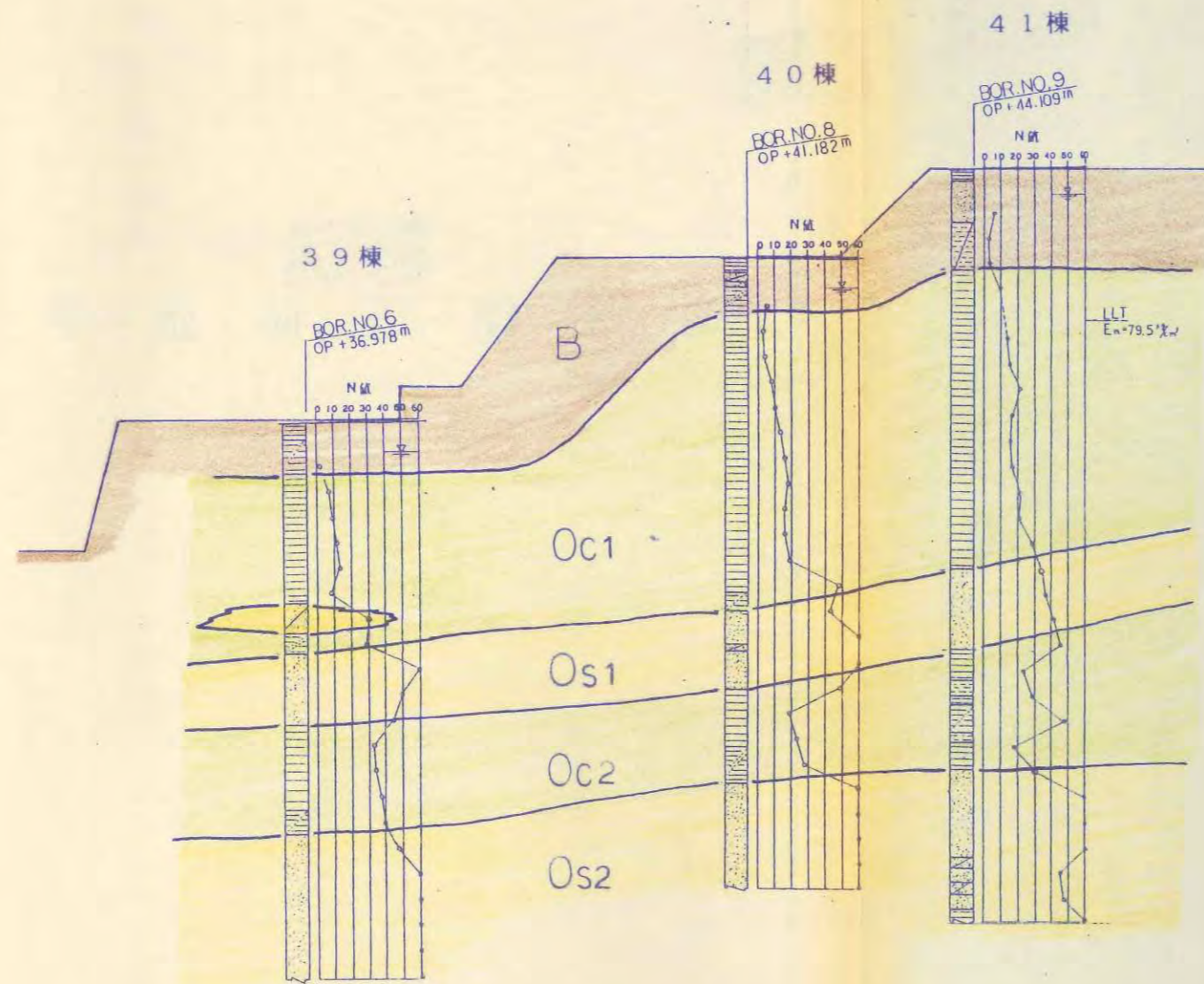
添付図 6.1 吹田佐竹台住宅 事業区域ボーリングデータ(7)

備考

注1) 試料採取方法の記号
 T: シンワオールサンプラー F: フォイルサンプラー
 P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
 D: デニソン型サンプラー

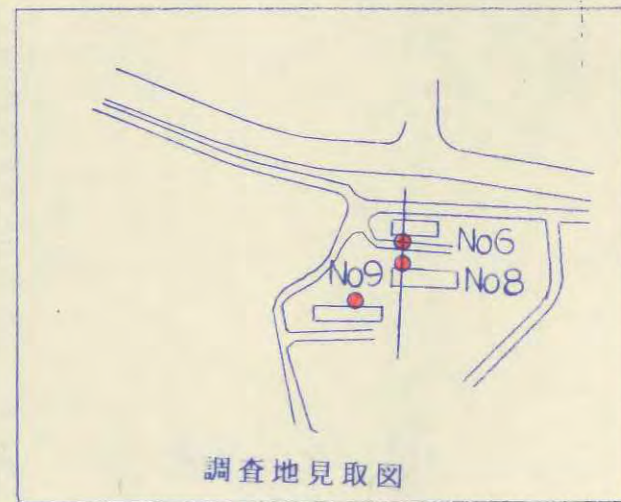
注2) 原位置試験方法の記号

OP(m)
50
40
30
20
10



地層想定断面図(佐竹台5丁目) (SH=1/500, SV=1/200)

OP(m)
50
40
30
20
10

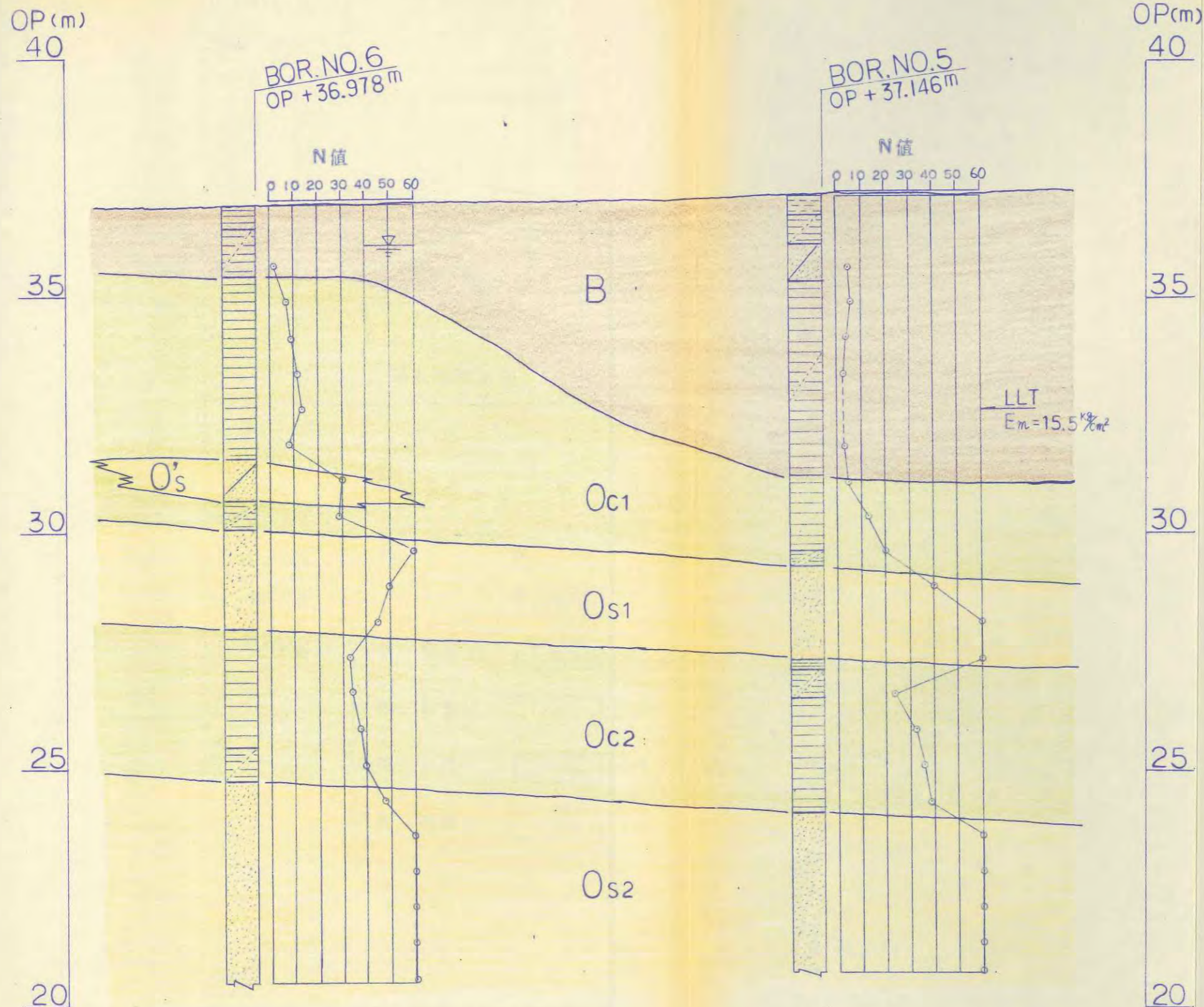


凡		例
盛土		B
大阪層群	第一粘性土	Oc1
	第一砂質土	Os1
	第二粘性土	Oc2
	第二砂質土	Os2

工事名称	大阪府吹田区佐竹台住宅第2期 増築工事地質調査委託		
図面名称	縮尺	SH=1/500, SV=1/200	
	図面番号	6/6	
昭和62年8月	日	照査	設計

中央開発株式会社大阪事業部

添付図 6.1 吹田佐竹台住宅
事業区域ボーリングデータ(9)



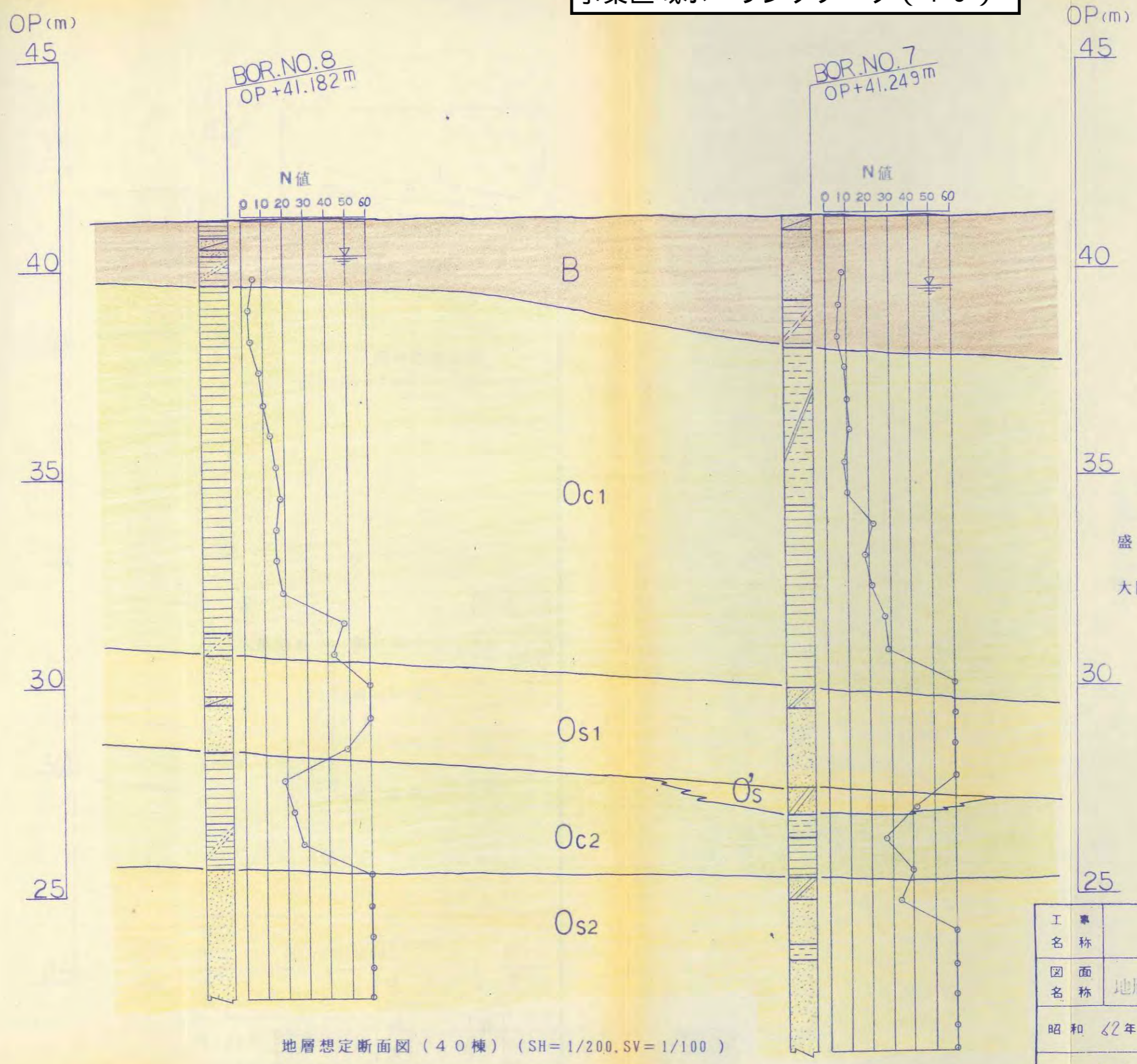
凡 例

盛土		B
大阪層群	第一粘性土	Oc1
	第一砂質土	Os1
	第二粘性土	Oc2
	第二砂質土	Os2

地層想定断面図 (39棟) (SH=1/200, SV=1/100)

工 事 名 称	大阪府千里佐竹台住宅第2期 建築工事地質調査委託		
図 面 名 称	地層想定断面図	縮 尺	SH=1/200, SV=1/100
		図面番号	3/6
昭 和 62年 8月 日	照 査		設 計
中央開発株式会社大阪事業部			

添付図 6-1 吹田佐竹台住宅
事業区域ボーリングデータ(10)



地層想定断面図 (40棟) (SH=1/200, SV=1/100)

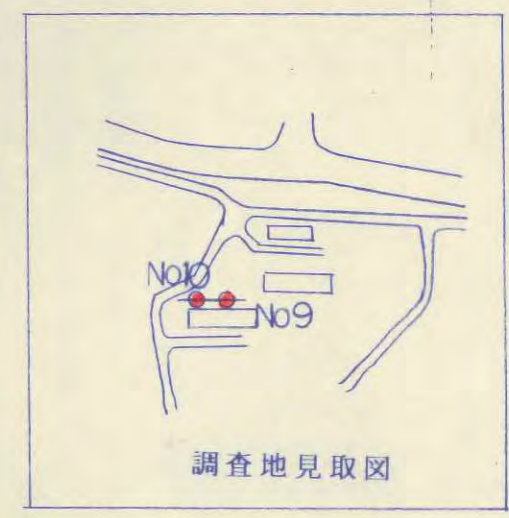
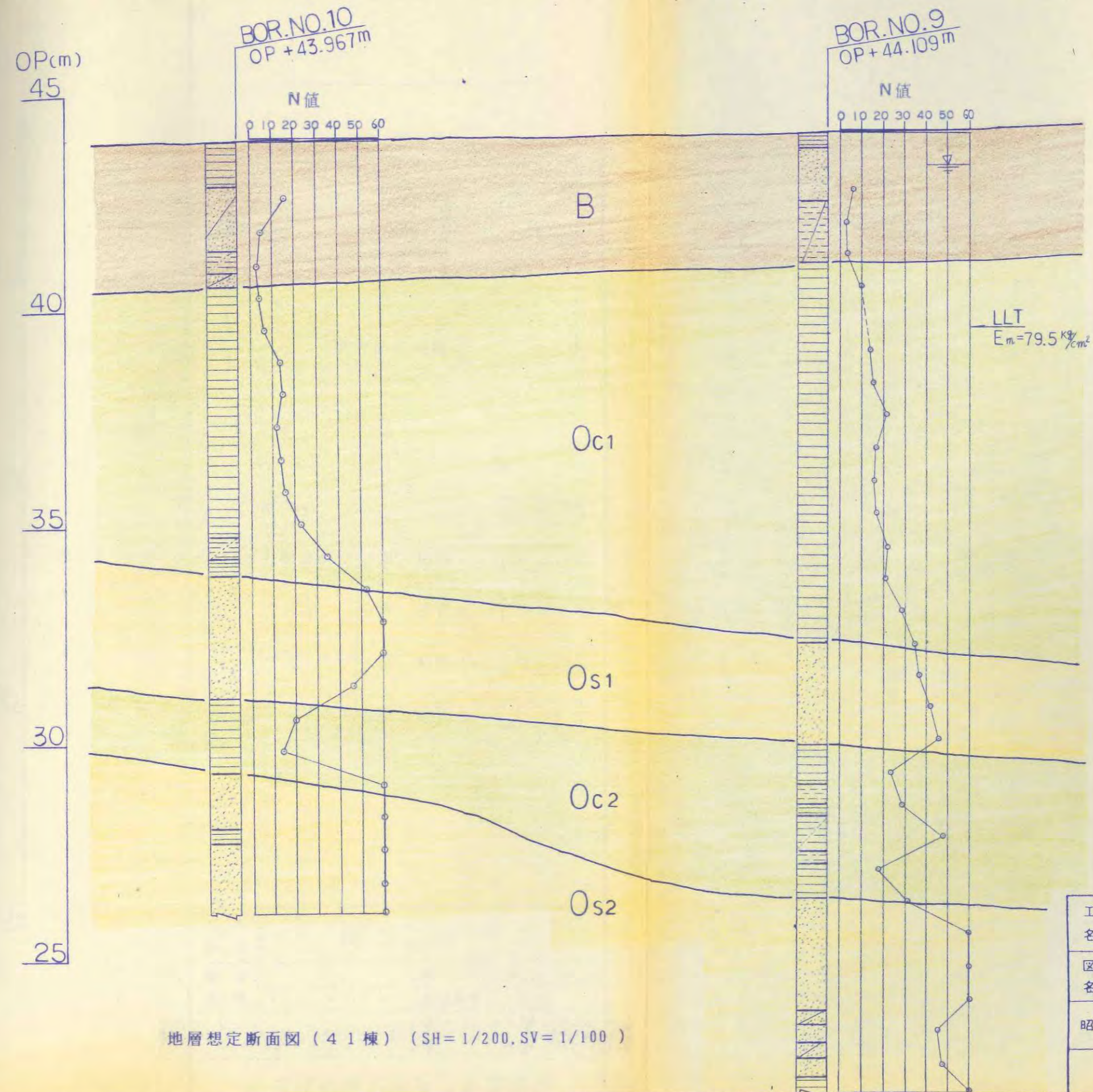


凡 例

盛土		B
大阪層群	第一粘性土	Oc1
	第一砂質土	Os1
	第二粘性土	Oc2
	第二砂質土	Os2

工 事 名 称	大阪府箕子区佐竹台住宅第2期 増築工事地質調査委託		
図 面 名 称	縮 尺	SH=1/200 SV=1/100	4/6
	図面番号		
昭 和 42年 8月 日	照 査	設 計	
中央開発株式会社大阪事業部			

添付図 6-1 吹田佐竹台住宅
事業区域ボーリングデータ(11)

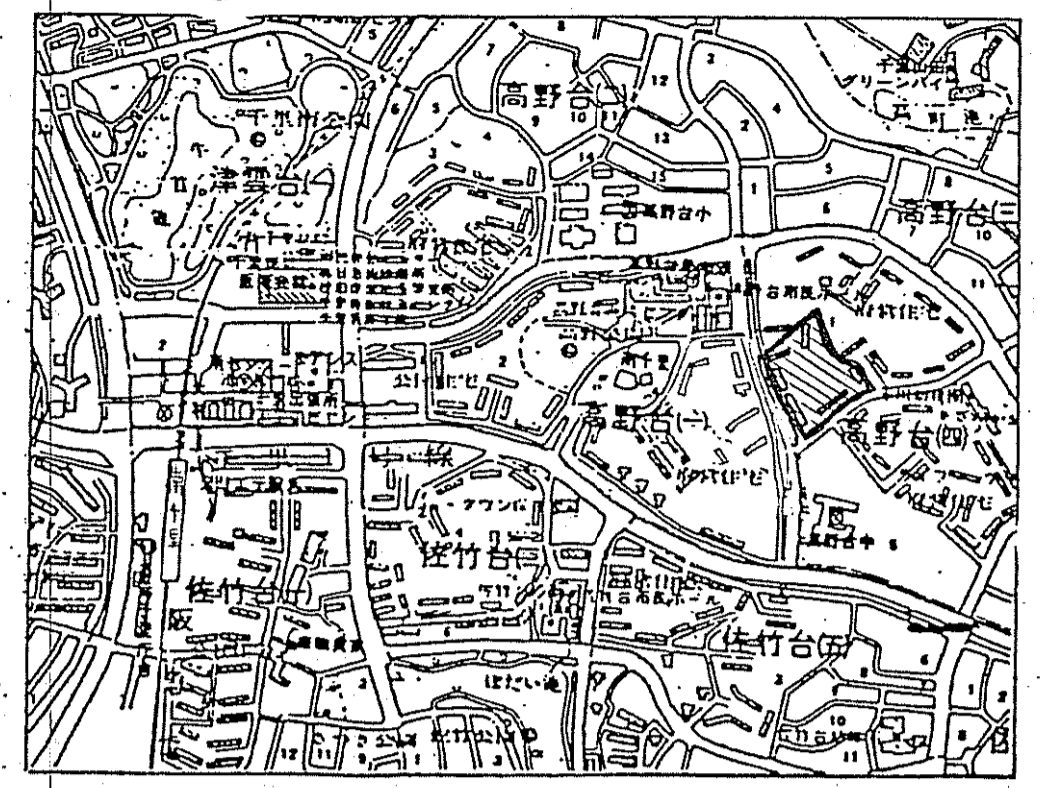


凡	例	
盛土	B	
大阪層群	第一粘性土	Oc1
	第一砂質土	Os1
	第二粘性土	Oc2
	第二砂質土	Os2

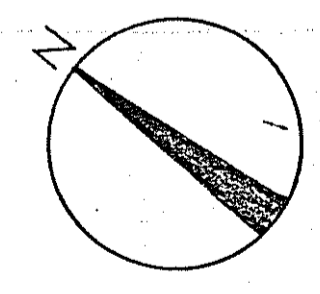
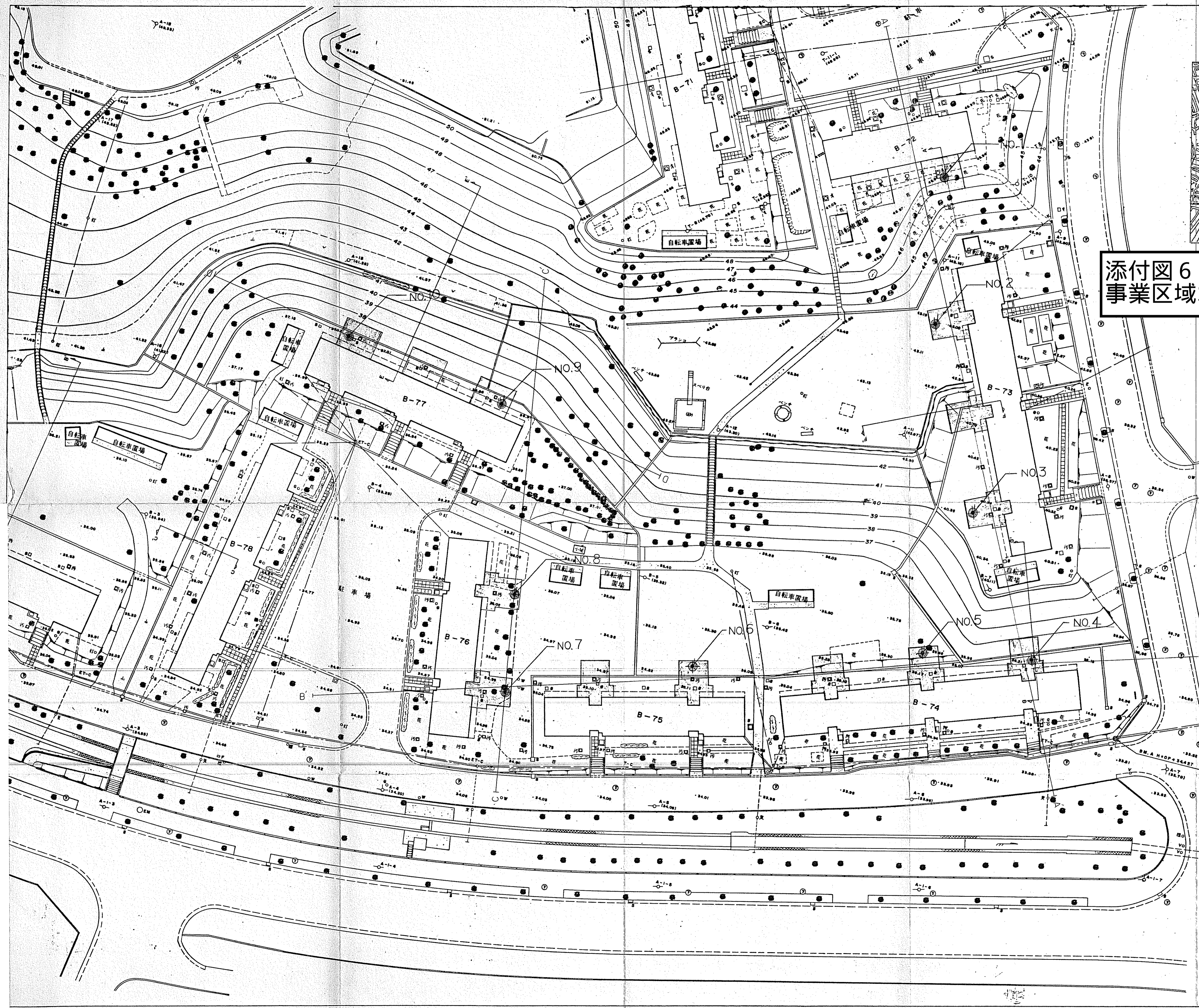
地層想定断面図 (41棟) (SH=1/200, SV=1/100)

工 事 名 称	大阪府豊千里佐竹台住宅第2期 増築工事地質調査委託		
図 面 名 称	縮 尺	SH=1/200, SV=1/100	設 計
	図面番号	5/6	
昭 和 62年 8月 日	照 査		設 計
中央開発株式会社大阪事業部			

高野台一丁目附近見取図



添付図 6.2 吹田高野台住宅事業区域ボーリングデータ(1)



⊕ ボーリング位置
縮尺 1/300

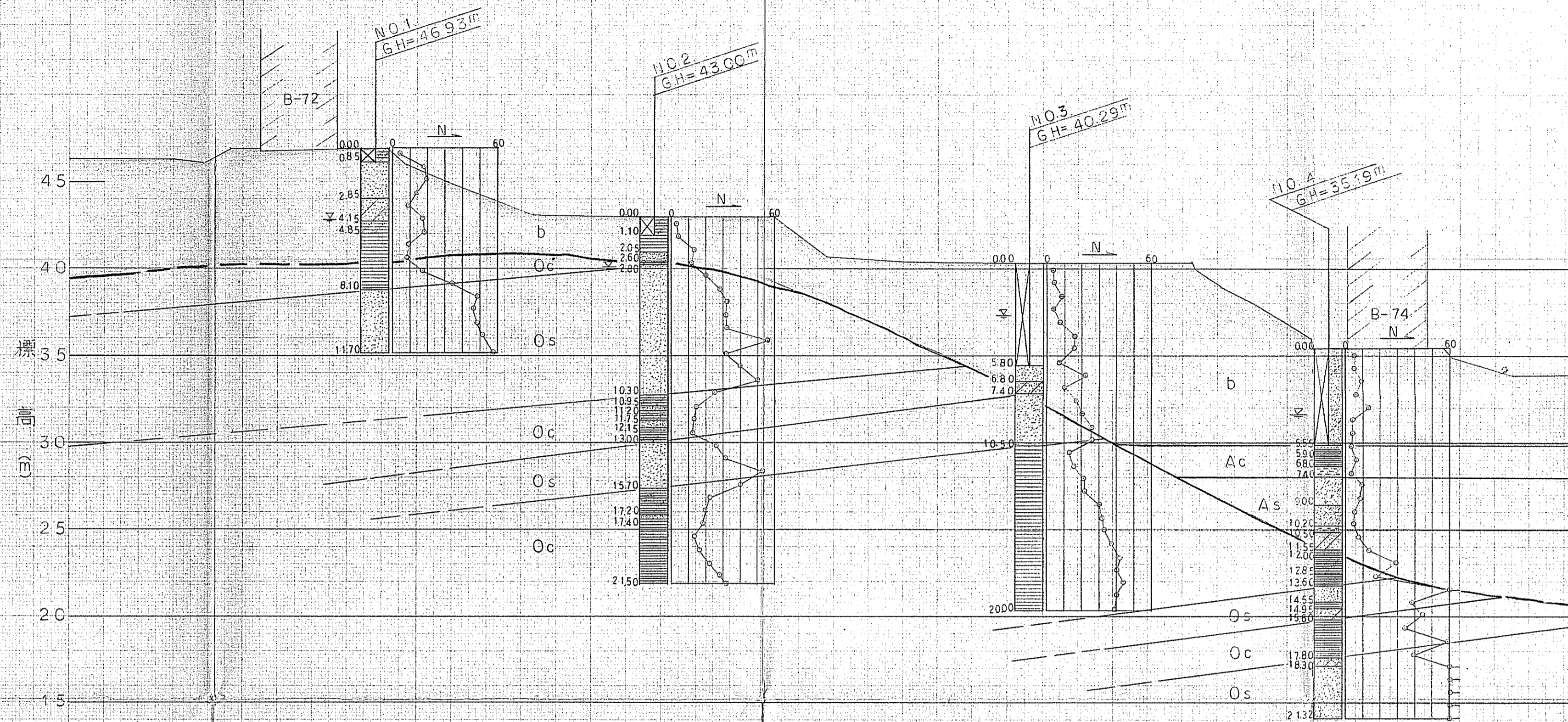
公営住宅	年度	大阪府	標準設計図
大阪府管下豊高野台住宅第1期増築(第2次)工事設計図			
図名	ボーリング位置図	縮尺	1/300
設計	大阪府建築部営繕課	昭和	年月日
監理	主幹係長	担当	

土層断面図

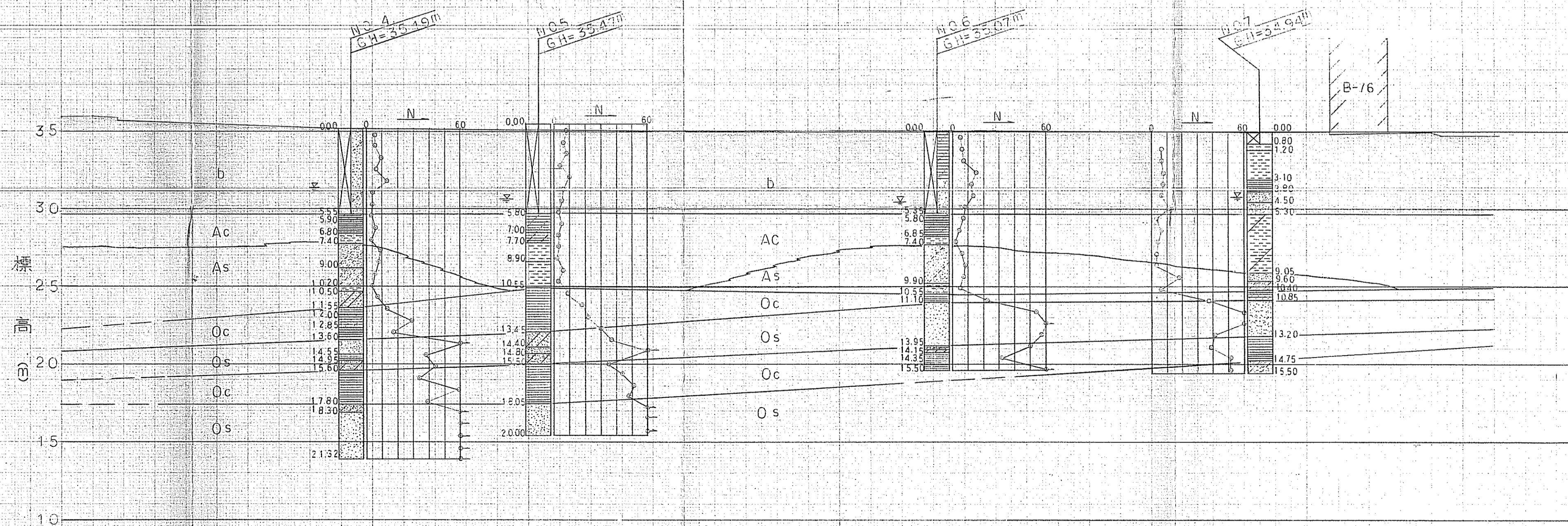
縮尺 1 : H=1:300
1 : V=1:200

添付図 6-2 吹田高野台住宅
事業区域ボーリングデータ(2)

(A-A)



(B-B)



凡例

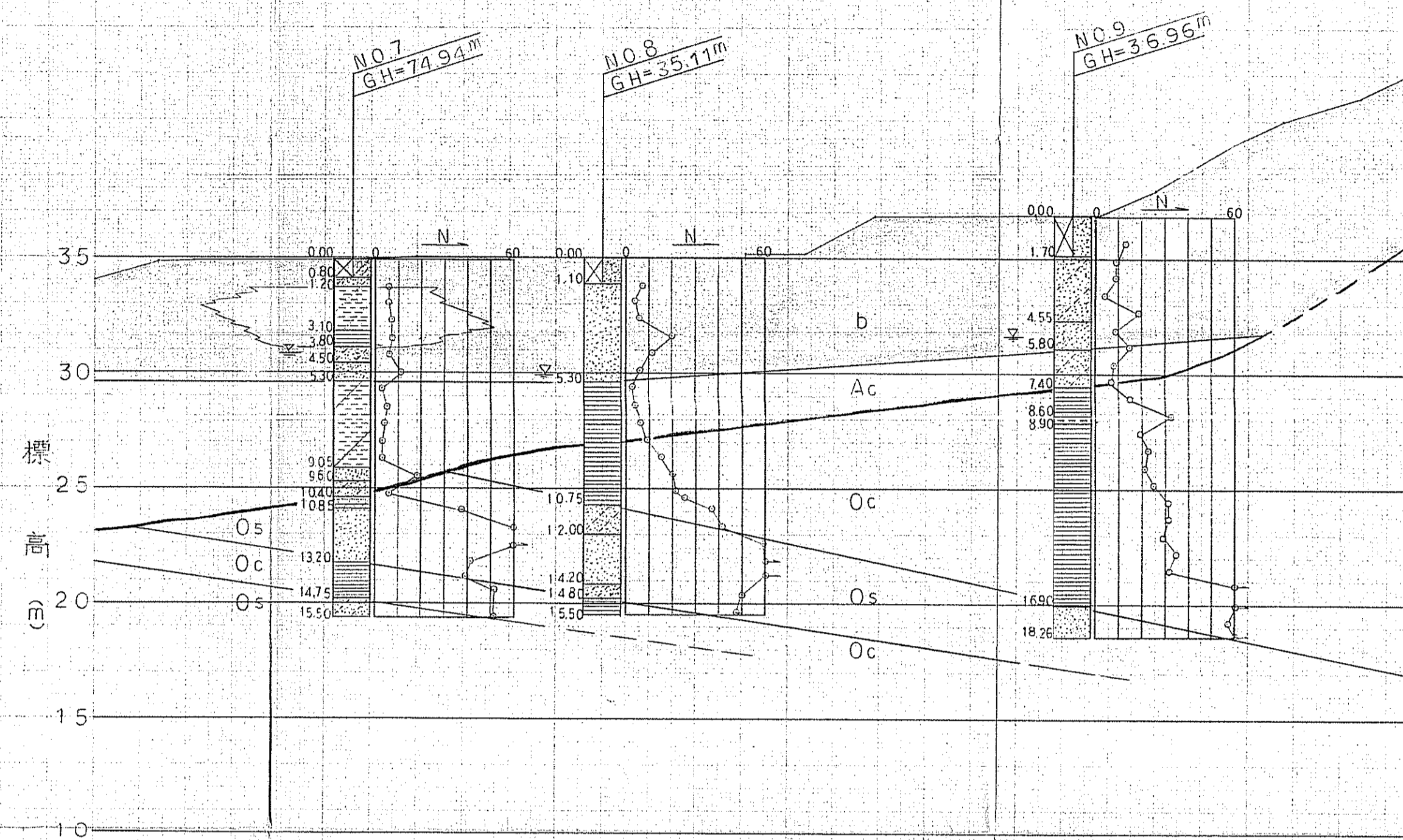
b	表土及び畚土層
As	沖積砂質土層
Ac	沖積粘性土層
Os	洪積砂質土層
Oc	洪積粘性土層
~	沖動層下限線

添付図 6・2 吹田高野台住宅
事業区域ボーリングデータ(3)

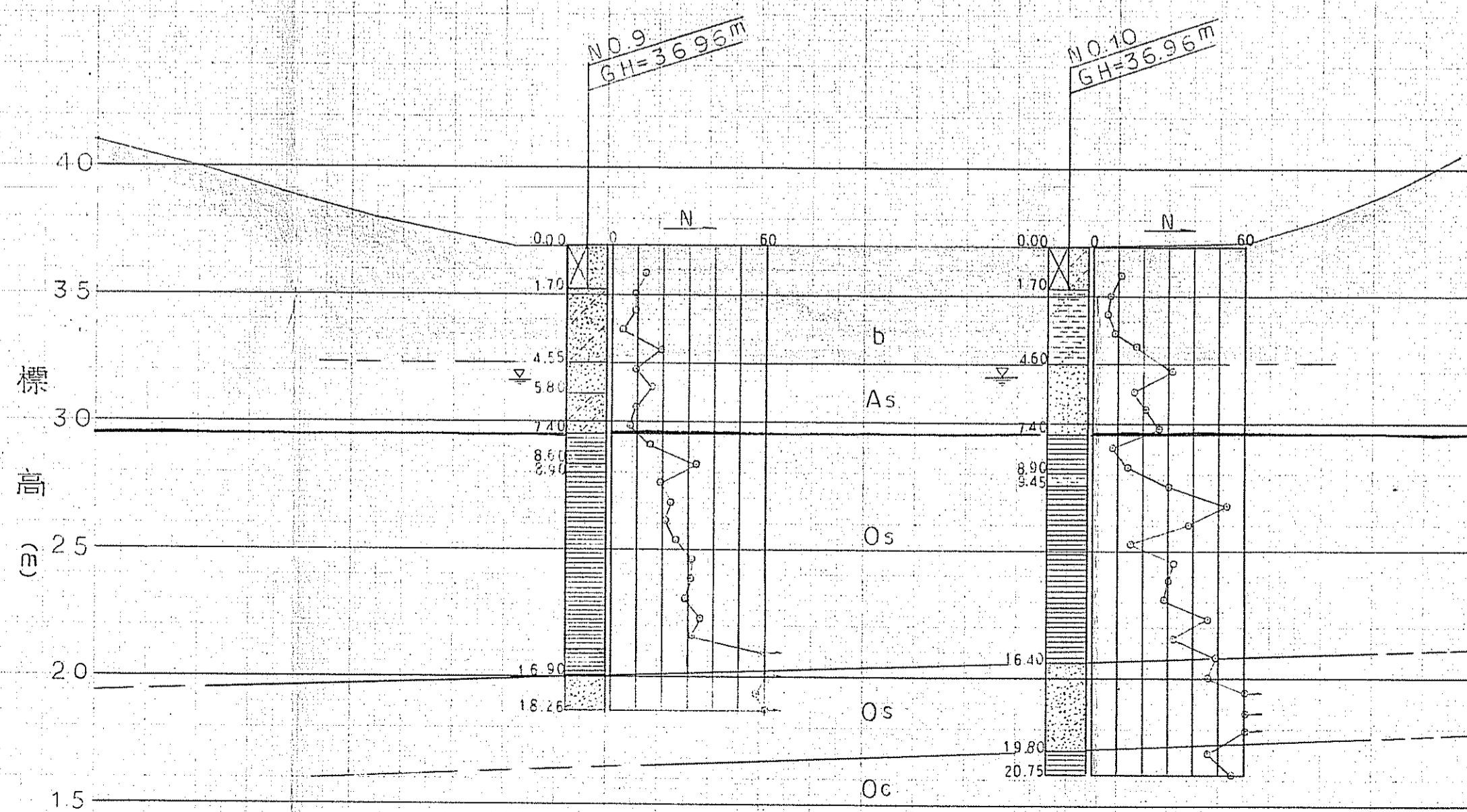
土層断面図

縮尺 H=1:300
V=1:200

(C - C')



(D - D')



凡例

b	表土及砂層
As	沖積砂質土層
Ac	沖積粘性土層
Os	洪積砂質土層
Oc	洪積粘性土層
~	沖積層界限線

土質柱状図

報告用紙

調査名 大阪府宮下里高野台住宅3期増築工事(吹田)地質調査委託

調査年月日 61年11月11日

調査地点

標高 46.93 m

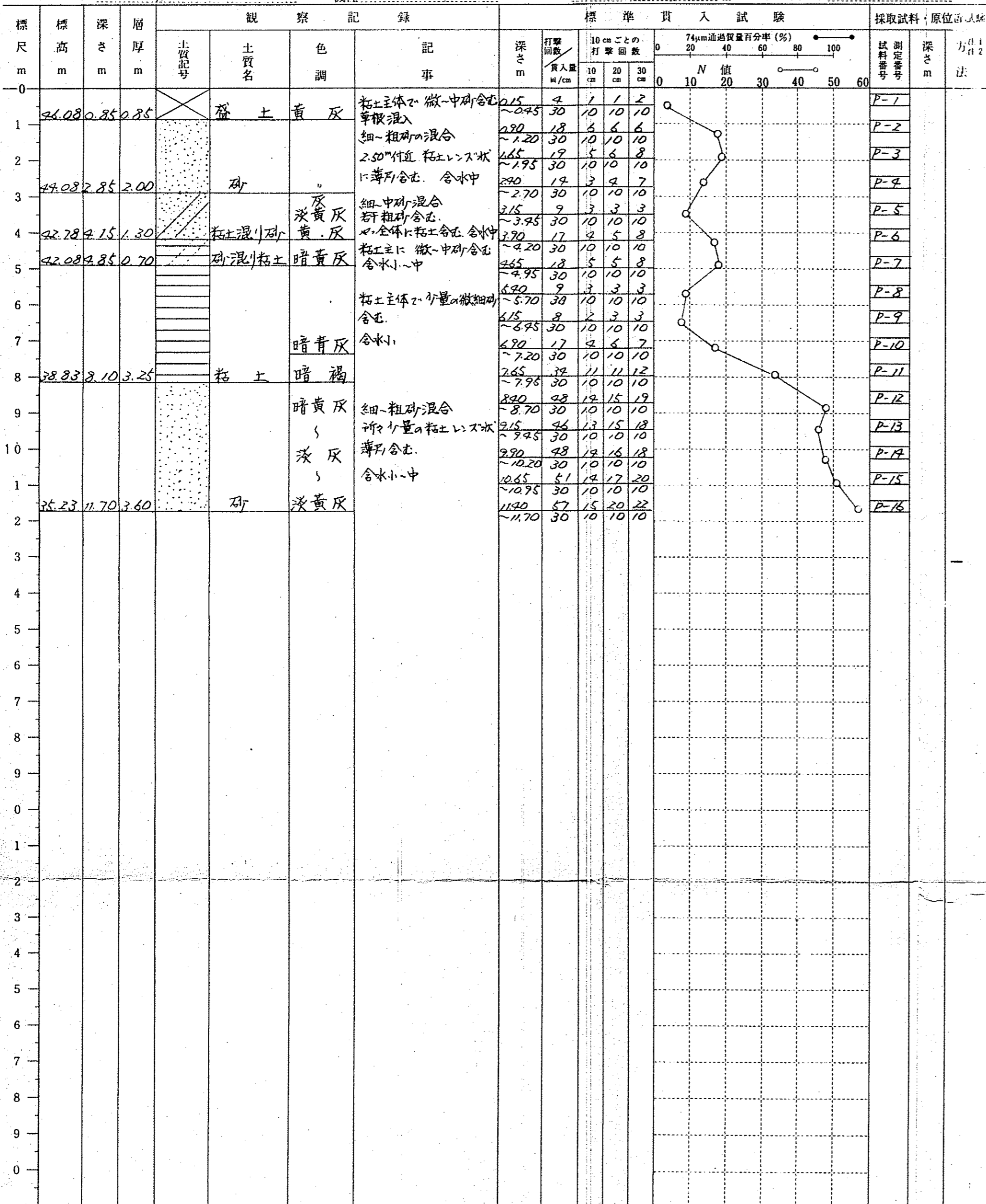
61年11月18日

ボーリング孔: No. 1

機種

孔内水位(自然泥) 61-4.10 m

調査責任者 青木 勝



備考

注1) 試料採取方法の記号
 T: シンウォールサンブラー F: ファイルサンブラー
 P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
 D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

土質柱状図

報告用紙

調査名 大阪府宮下里高野台住宅3期増築工事(吹田)地質調査委託

調査年月日 61年11月19日

調査地点

標高 43.00 m

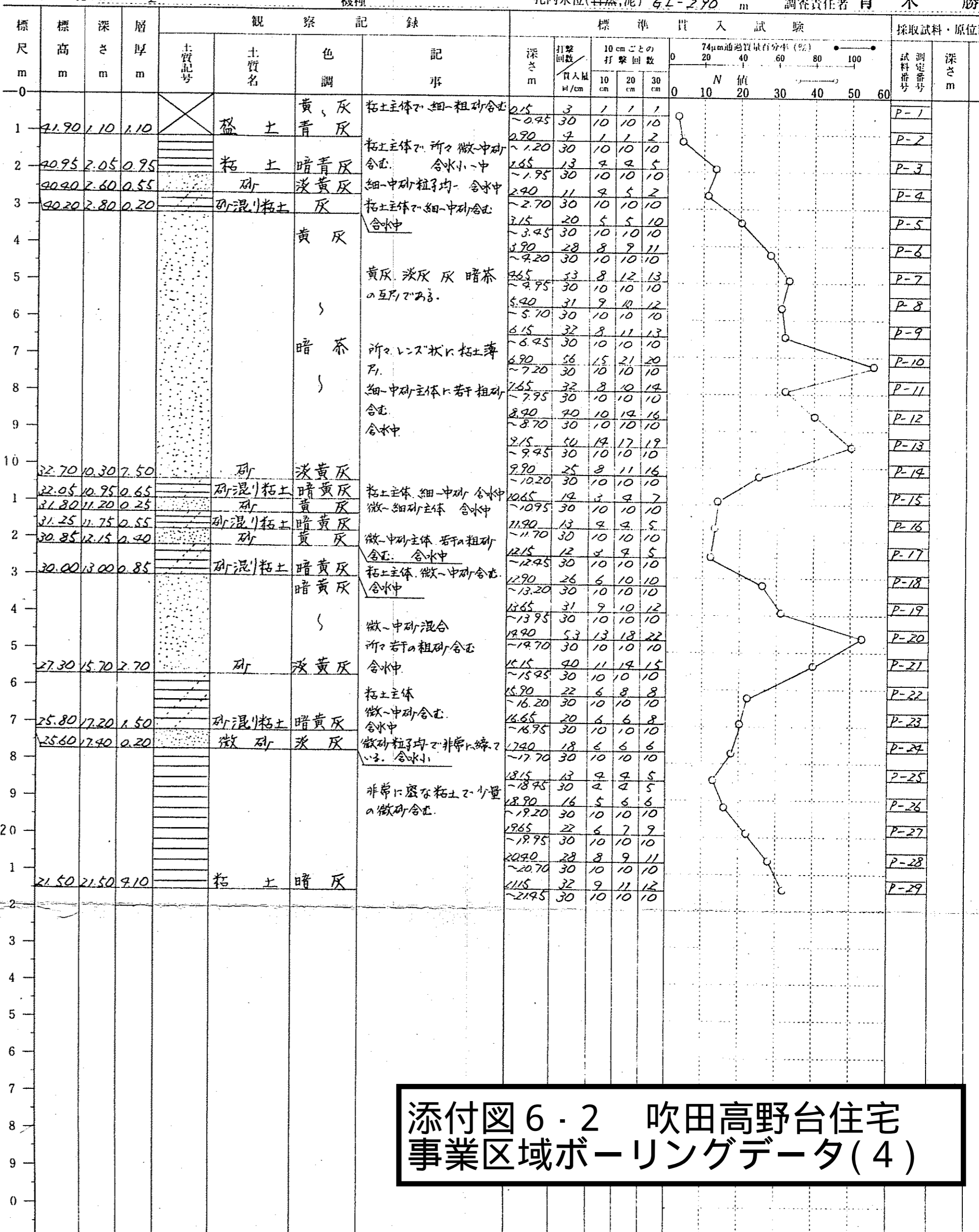
61年11月21日

ボーリング孔: No. 2

機種

孔内水位(自然泥) 61-2.90 m

調査責任者 青木 勝



備考

注1) 試料採取方法の記号
 T: シンウォールサンブラー F: ファイルサンブラー
 P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
 D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

添付図 6-2 吹田高野台住宅 事業区域ボーリングデータ(4)

土質柱状図 報告用紙

土質柱状図 報告用紙

調査名 大阪府高野台住宅3期増築工事(第3次)地質調査委託 調査年月日 61年11月22日

調査名 大阪府高野台住宅3期増築工事(第3次)地質調査委託 調査年月日 61年11月18日

調査地点 標高 40.29 m ボーリング孔: Na 3 機種 孔内水位(自然泥) GL-3.00 m 調査責任者 青木 勝

調査地点 標高 35.19 m ボーリング孔: Na 7 機種 孔内水位(自然泥) GL-3.80 m 調査責任者 青木 勝

Table with columns for depth (m), soil type, color, and test results. Includes a soil profile graph showing penetration resistance (N) vs depth.

Table with columns for depth (m), soil type, color, and test results. Includes a soil profile graph showing penetration resistance (N) vs depth.

備考 注1) 試料採取方法の記号 T: シンウォールサンブラー F: ファイルサンブラー P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー D: デニソン型サンブラー

備考 注2) 原位置試験方法の記号

添付図 6-2 吹田高野台住宅 事業区域ボーリングデータ(5)

土質柱状図

報告用紙

調査名 大阪府豊千里高野台住宅3期増築工事(3次)地質調査委託

調査年月日 61年11月25日

調査地点

標高 35.47 m

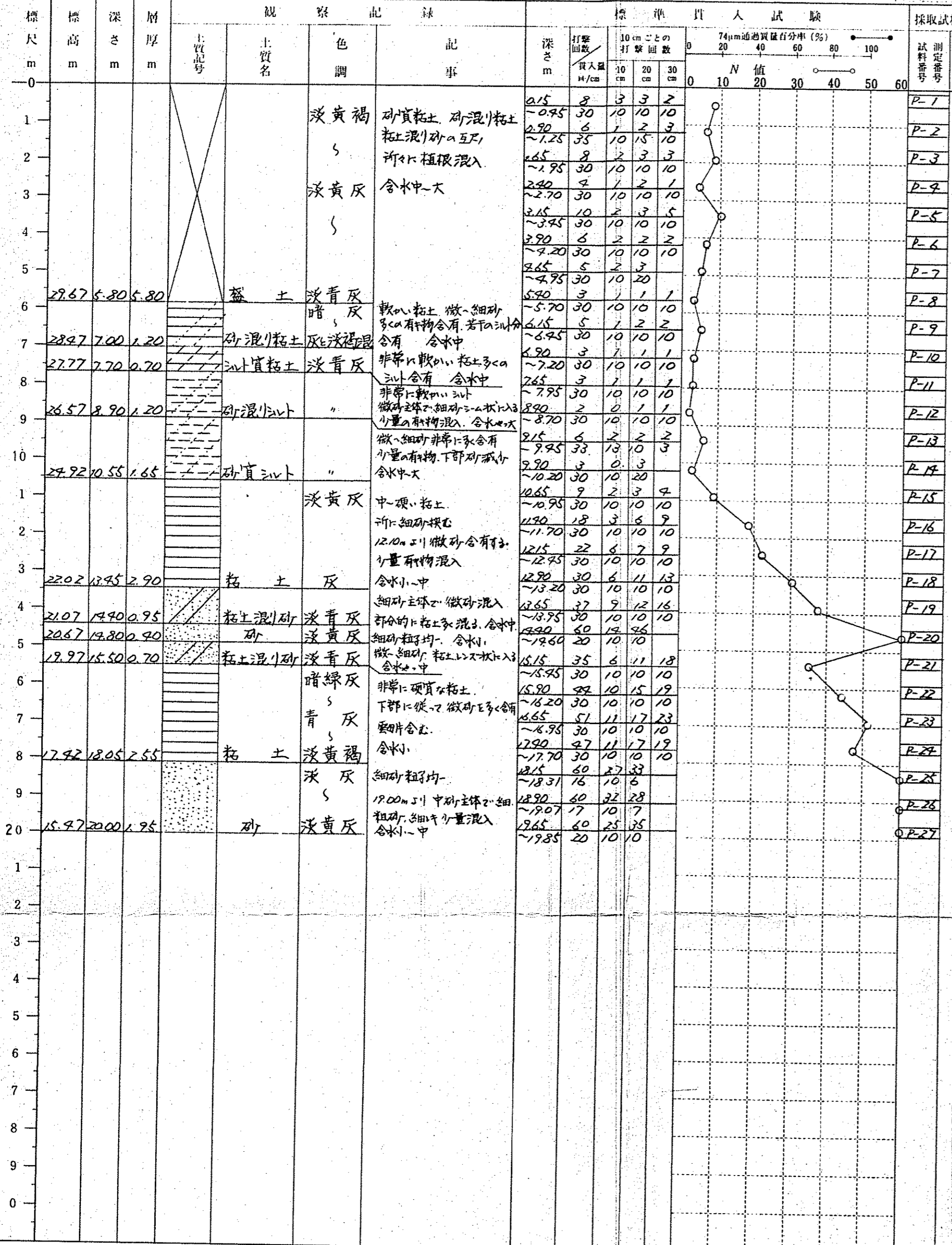
61年11月27日

ボーリング孔: No. 5

機種

孔内水位(自然泥) GL-4.80 m

調査責任者 青木 勝



備考

注1) 試料採取方法の記号
 T: シンウォールサンブラー F: ファイルサンブラー
 P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
 D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

土質柱状図

報告用紙

調査名 大阪府豊千里高野台住宅3期増築工事(3次)地質調査委託

調査年月日 61年11月27日

調査地点

標高 35.07 m

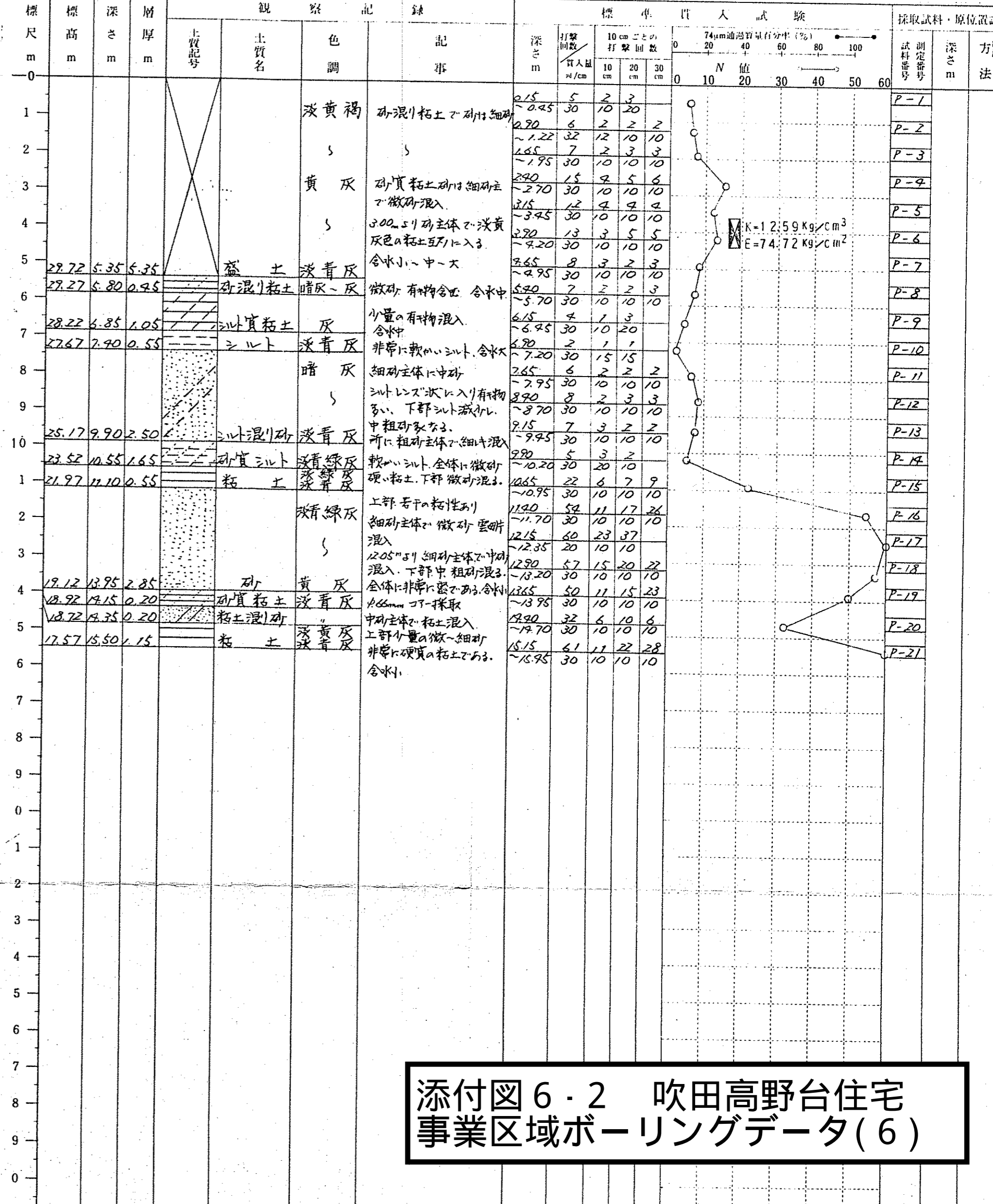
61年11月22日

ボーリング孔: No. 6

機種

孔内水位(自然泥) GL-4.65 m

調査責任者 青木 勝



備考

注1) 試料採取方法の記号
 T: シンウォールサンブラー F: ファイルサンブラー
 P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
 D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

添付図 6-2 吹田高野台住宅 事業区域ボーリングデータ(6)

土質柱状図

報告用紙

調査名 大阪府豊中市長野台住宅第2期増築工事(第3次)地質調査委託

調査年月日 61年11月11日

調査地点

標高 32.94 m

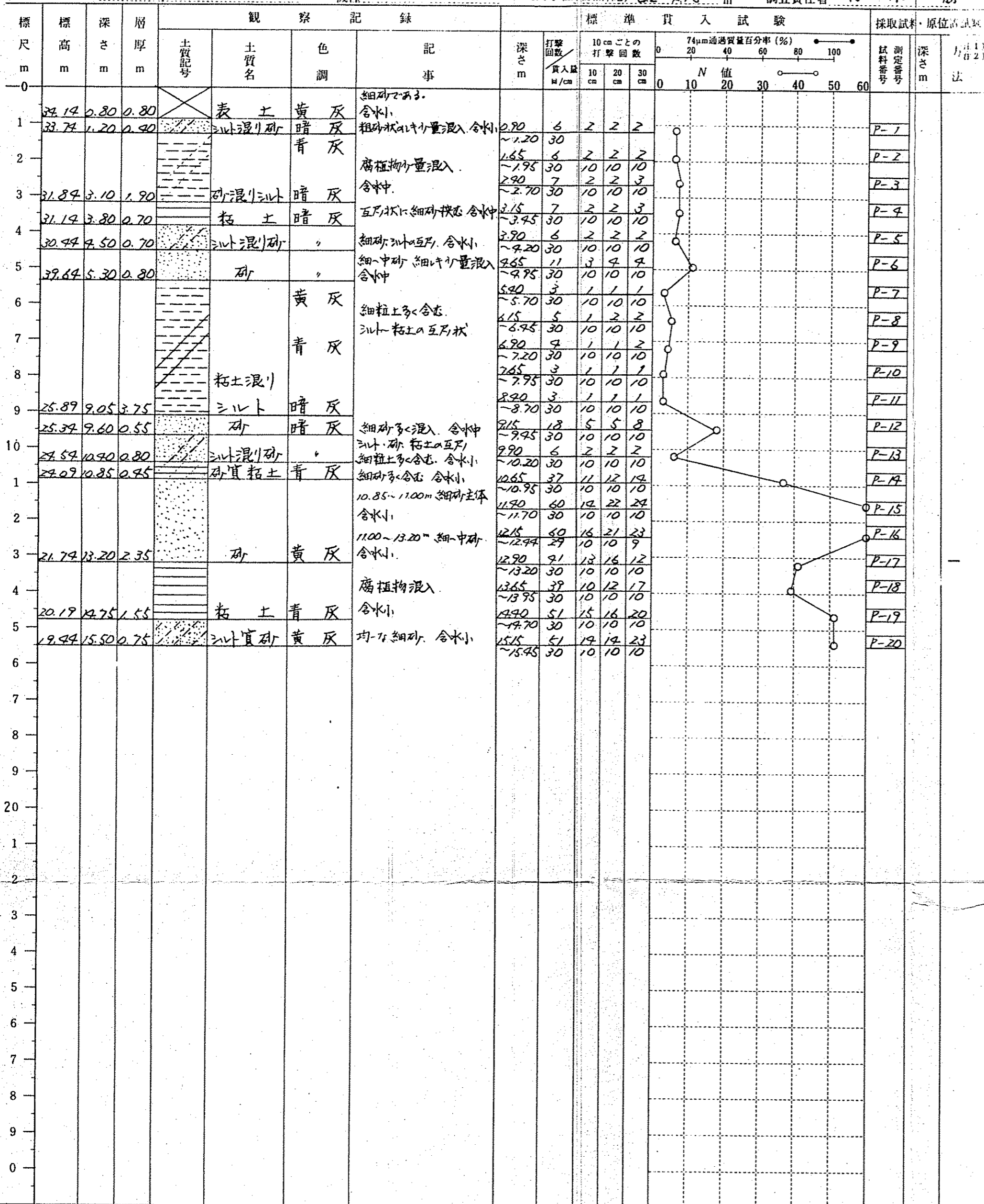
61年11月18日

ボーリング孔: No. 7

機種

孔内水位(自然,泥) 64-9.15 m

調査責任者 青木 勝



備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンウォールサンブラー F: フォイルサンブラー
P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

土質柱状図

報告用紙

調査名 大阪府豊中市長野台住宅第2期増築工事(第3次)地質調査委託

調査年月日 61年11月19日

調査地点

標高 35.11 m

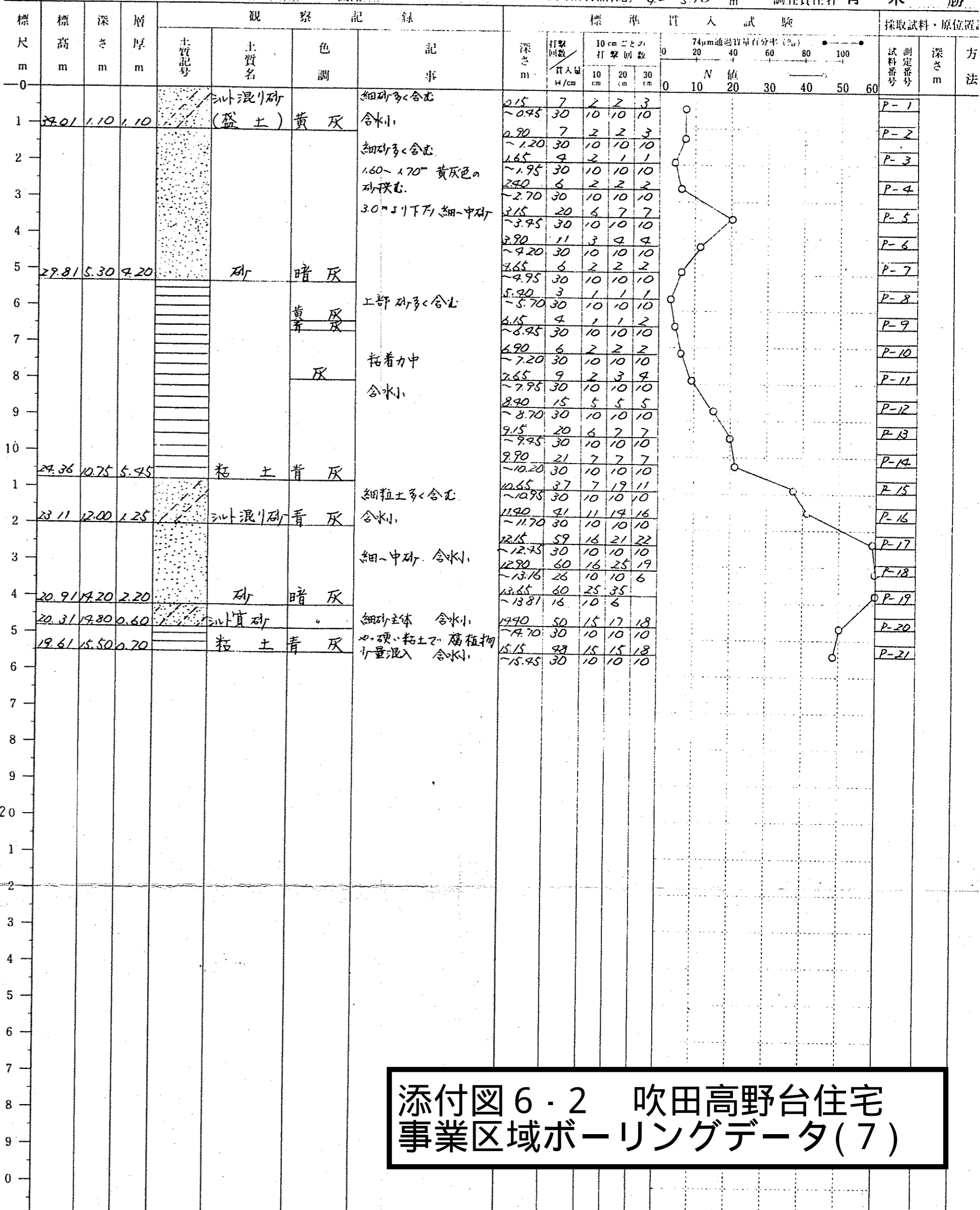
61年11月20日

ボーリング孔: No. 8

機種

孔内水位(自然,泥) 64-5.10 m

調査責任者 青木 勝



備考

注1) 試料採取方法の記号

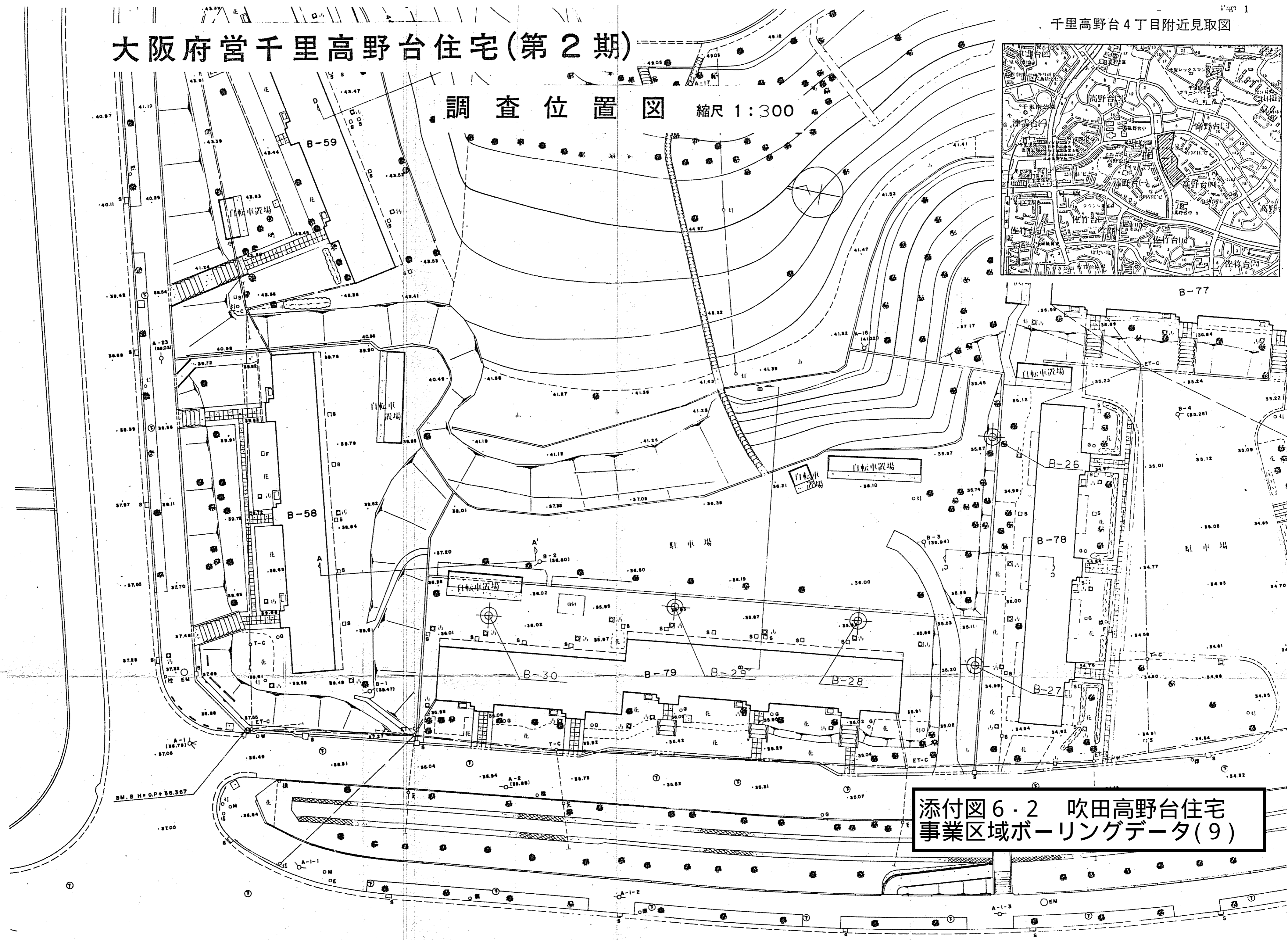
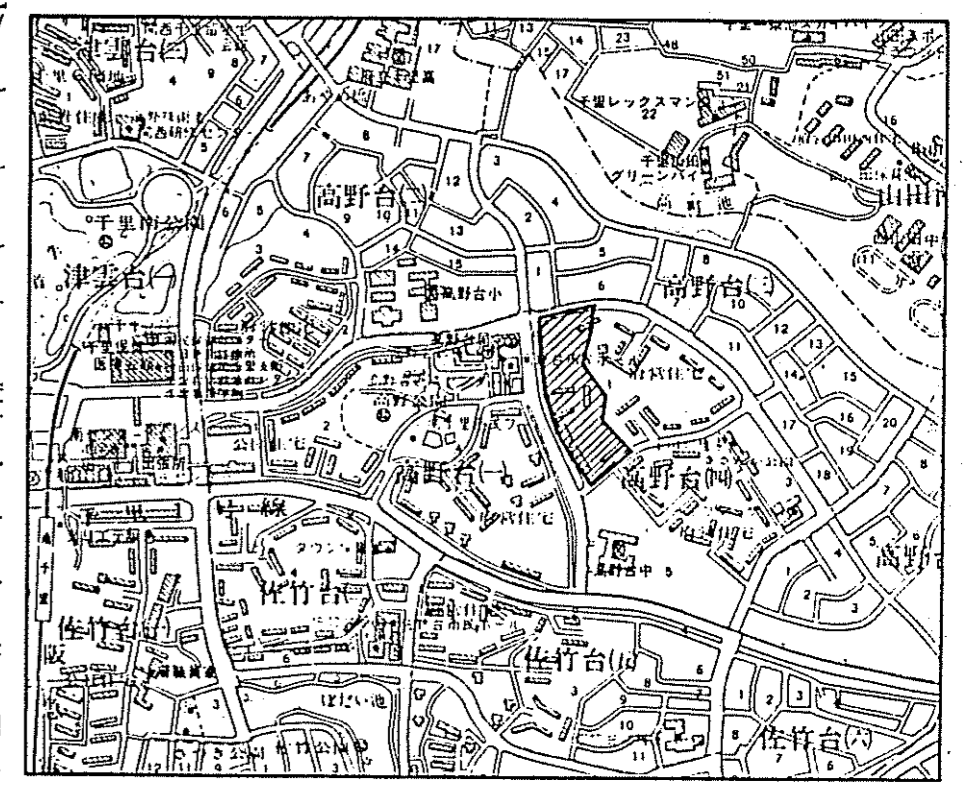
T: シンウォールサンブラー F: フォイルサンブラー
P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

添付図 6-2 吹田高野台住宅
事業区域ボーリングデータ(7)

大阪府宮千里高野台住宅(第2期)

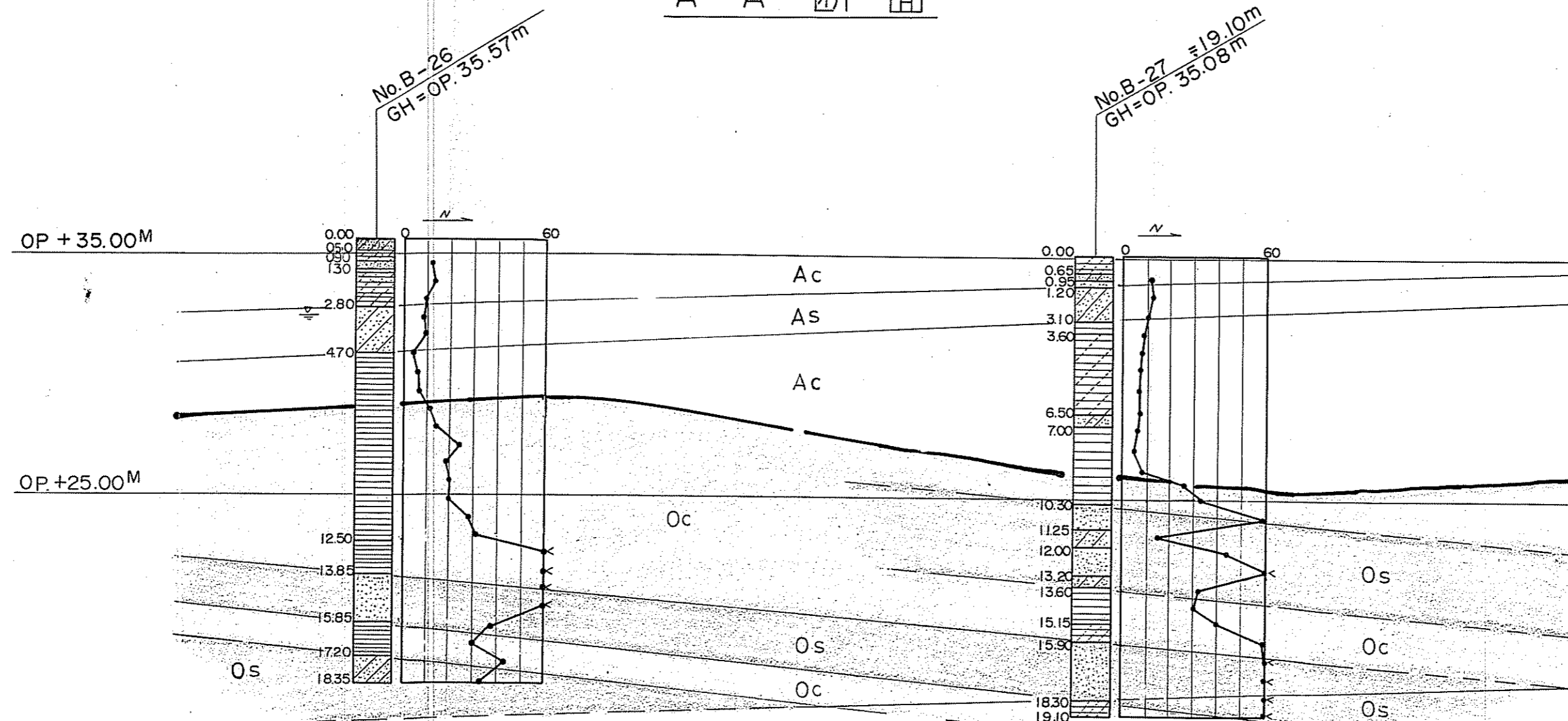
調査位置図 縮尺 1:300



添付図 6-2 吹田高野台住宅
事業区域ボーリングデータ(9)

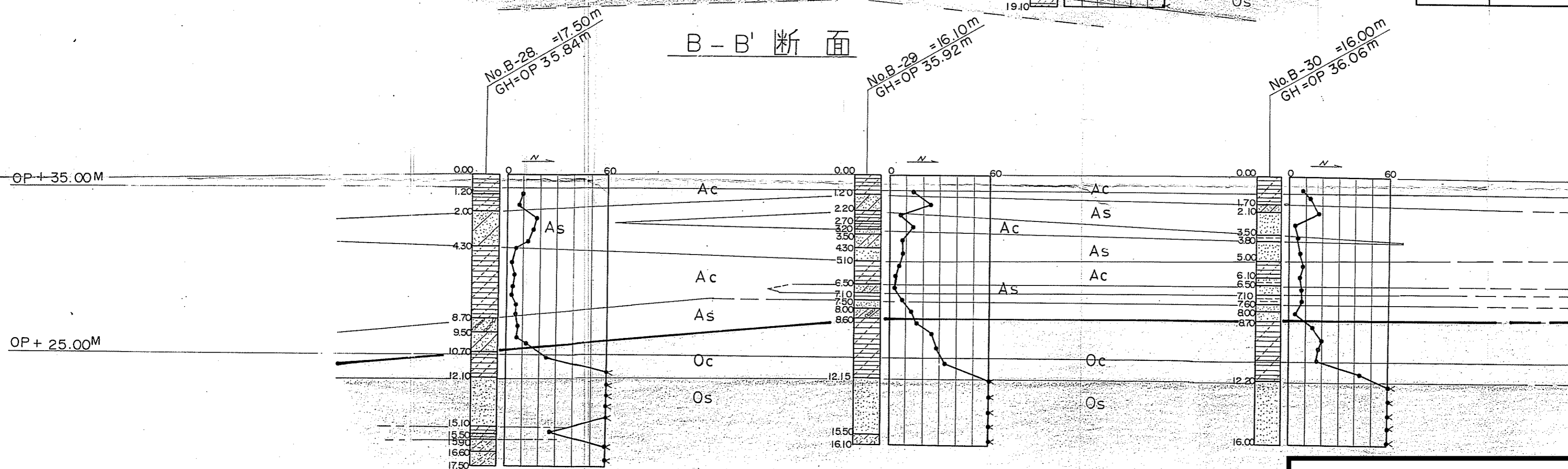
土層断面図 S=1:200

A-A' 断面



土質記号	土質名	色別記号	地質名
	砂質土	As	沖積砂質土層
	粘土	Ac	沖積粘性土層
	シルト	Os	洪積砂質土層
	礫混り土	Oc	洪積粘性土層
	砂質及び砂混り土	~	沖積層下限線
	シルト質及びシルト混り土		
	粘土質及び粘土混り土		

B-B' 断面

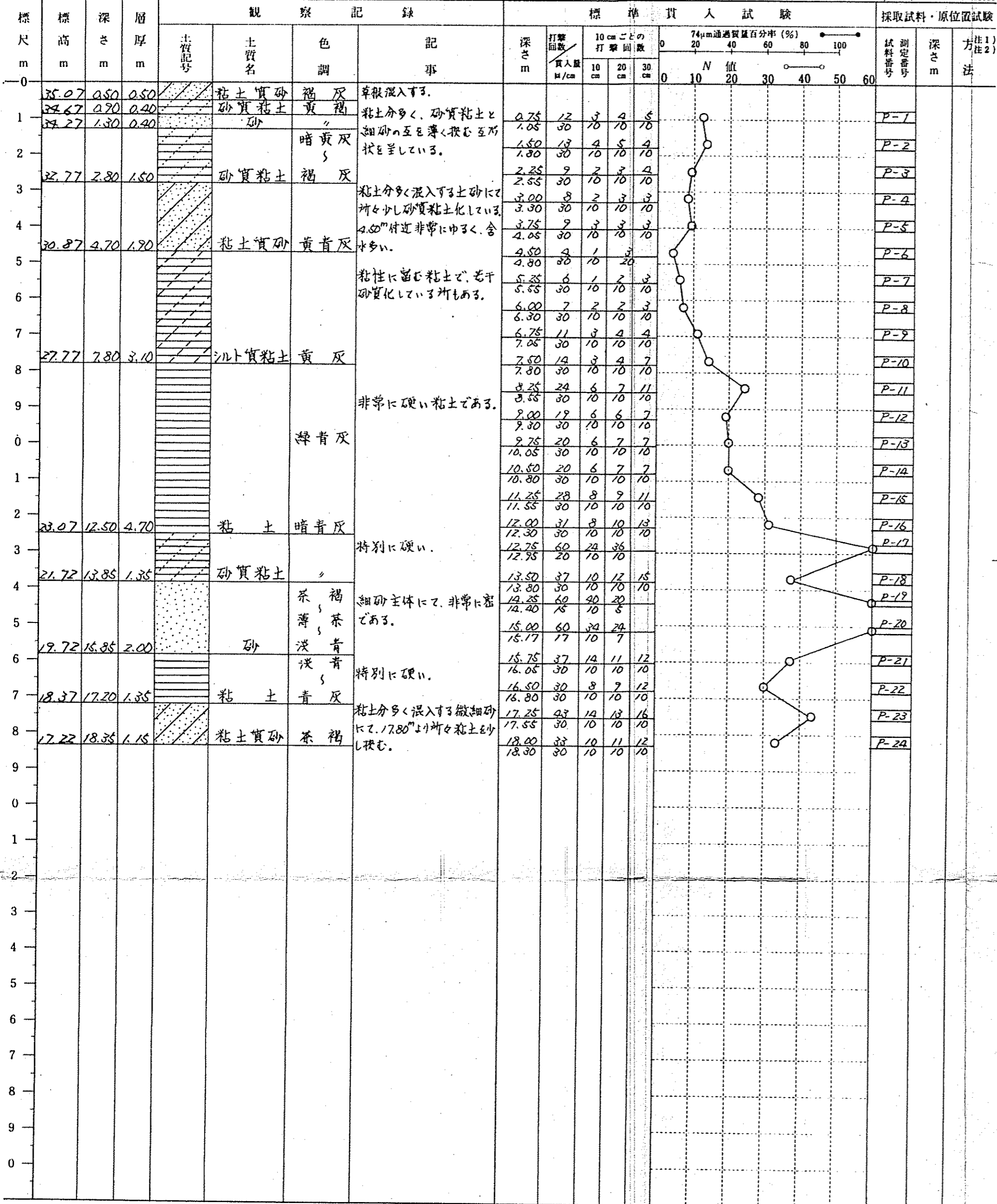


添付図 6-2 吹田高野台住宅事業区域ボーリングデータ(10)

土質柱状図 報告用紙

調査名 千野高野台住宅才2期増築工事(才3次) 調査年月日 61年2月5日 調査地点 標高 36.57 m

ボーリング孔: No B-26 機種 孔内水位(自然,泥) GL-30.00 m 調査責任者 磯崎

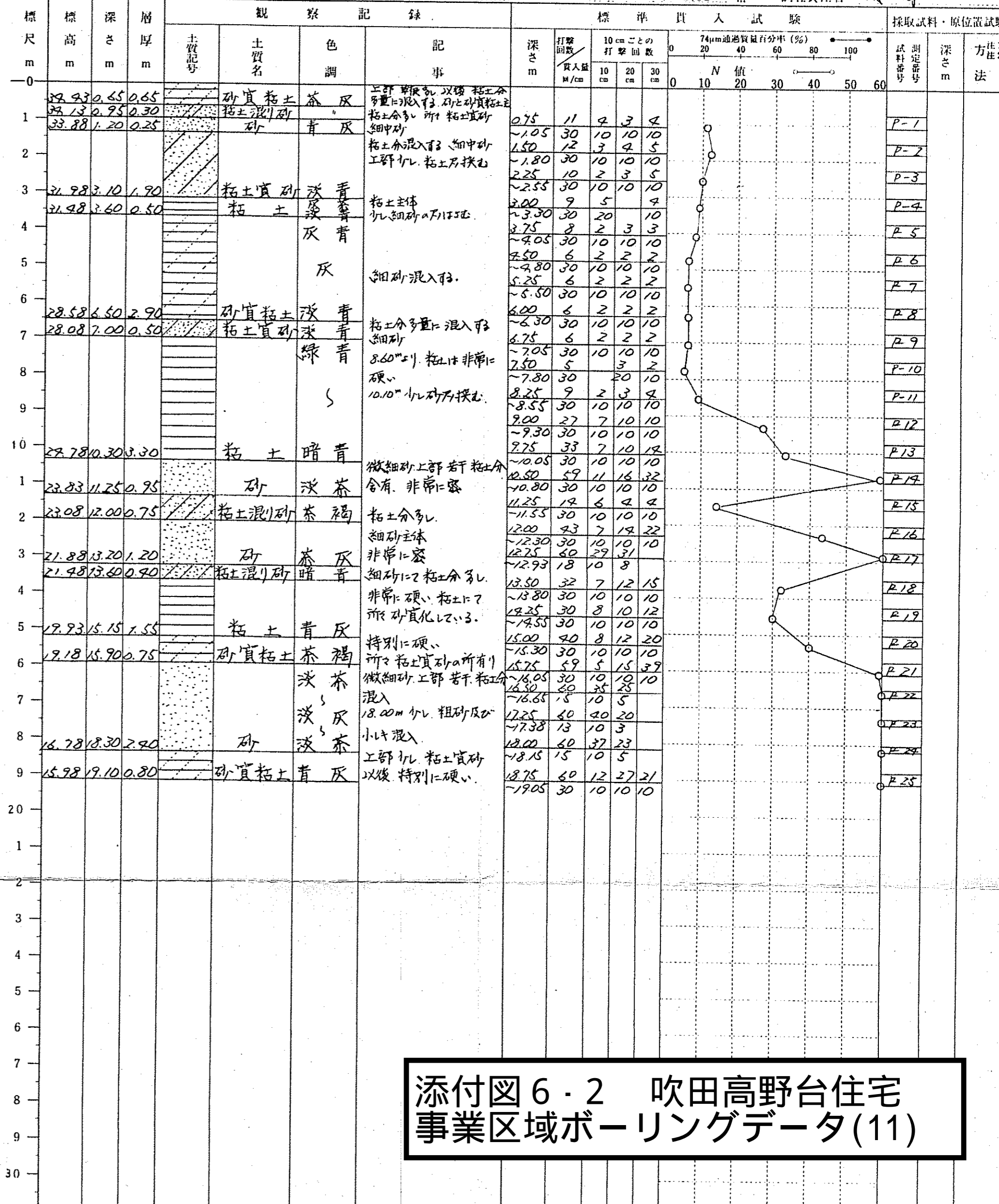


備考 注1) 試料採取方法の記号 T: シンウォールサンブラー F: フォイルサンブラー P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー D: デニソン型サンブラー 注2) 原位置試験方法の記号

土質柱状図 報告用紙

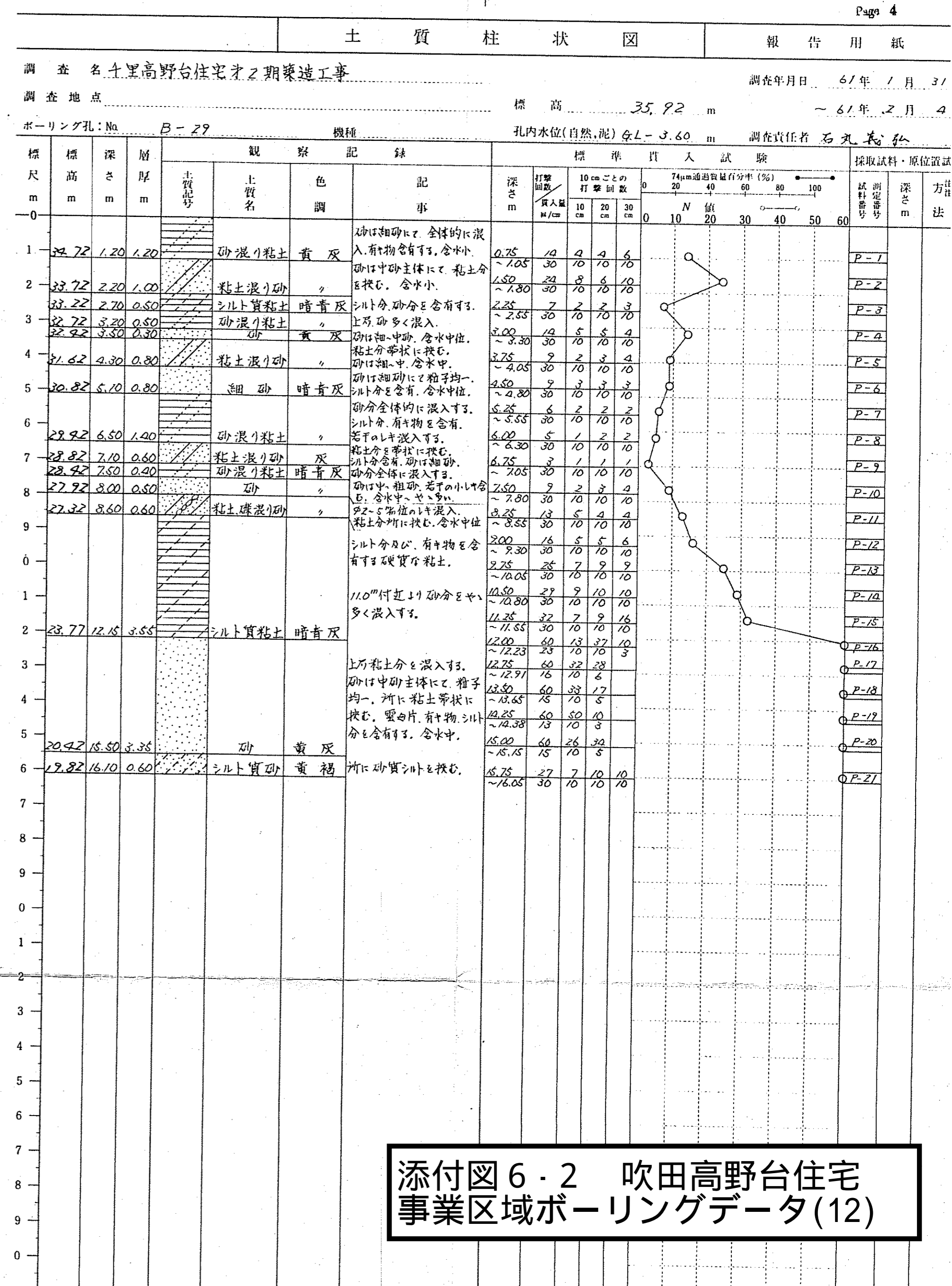
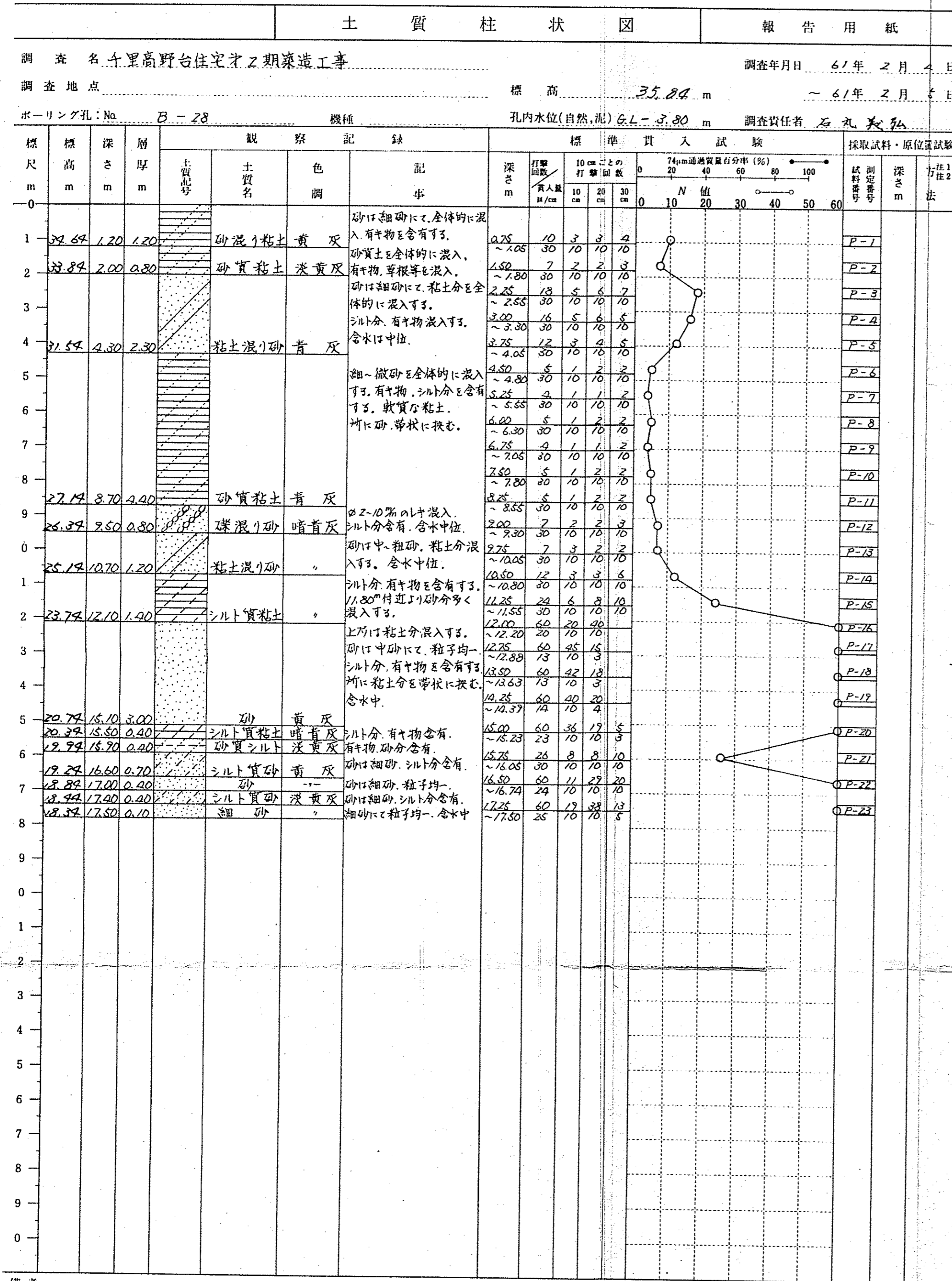
調査名 千野高野台住宅才2期増築工事 調査年月日 61年2月3日 調査地点 標高 35.08 m

ボーリング孔: No B-27 機種 孔内水位(自然,泥) GL-25.5 m 調査責任者 磯崎



備考 注1) 試料採取方法の記号 T: シンウォールサンブラー F: フォイルサンブラー P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー D: デニソン型サンブラー 注2) 原位置試験方法の記号

添付図 6-2 吹田高野台住宅 事業区域ボーリングデータ(11)



添付図 6-2 吹田高野台住宅事業区域ボーリングデータ(12)

土質柱状図 報告用紙

調査名 千里高野台住宅2期増築工事(木次) 調査年月日 61年1月29日
 調査地点 標高 36.06 m ~ 61年1月30日
 ボーリング孔: No. B-30 機種 孔内水位(自然, 泥) 61.60 m 調査責任者 石丸義弘

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			標準貫入試験				採取試料・原位置試験								
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 N	10cm 打撃回数	30cm 打撃回数	74μm通過質量百分率(%)	試料番号	測定番号	深さ m	方法			
0																			
1	32.36	1.70	1.70		砂混り粘土	黄灰	0.50m以下コーン片玉石 香深等混入。細中砂全体 混入す。	0.75	9	3	3	3						P-1	
2	33.96	2.10	0.40		粘土混り砂	青灰	所中砂多し混入。 粘土多し混入す。	1.05	30	10	10	10						P-2	
3	32.56	3.50	1.40		砂		砂は中砂にて。粒子均一。 若干の粘土含有	2.25	18	6	6	6						P-3	
4	32.26	3.80	0.30		砂		含水中位	3.00	9	3	1	1						P-4	
5	31.06	5.00	1.20		砂		軟質シルト。砂多し混入 砂は中粗砂 シルト含有多し	3.30	30	10	10	10						P-5	
6	29.96	6.10	1.10		砂混り粘土		含水多し混入す。 中砂全体に混入す。 所中粘土混り砂と換 粘土は中位	4.50	30	10	10	10							P-6
7	29.56	6.50	0.40		シルト		中砂含有多し	4.80	30	10	10	10						P-7	
8	28.96	7.10	0.60		粘土混り砂	暗青灰	有物。粘土含有多し 有物。腐植物混入	5.55	30	10	10	10						P-8	
9	28.46	7.60	0.50		シルト	暗青灰	粘土含有多し 中砂含有多し	6.00	7	3	2	2						P-9	
10	28.06	8.00	0.40		粘土混り砂		砂含有多し シルト含有多し	6.75	30	10	10	10						P-10	
11	27.36	8.70	0.70		粘土混り砂		含水中 粘土多し混入す。	7.05	30	10	10	10						P-11	
12							小片混入。腐植物混入	7.50	30	10	10	10						P-12	
13							シルト。有物含有	8.25	20	6	6	8						P-13	
14							所中砂多し混入 硬質粘土。下砂混り 粘土	10.50	18	5	5	7						P-14	
15	23.96	12.20	3.50		シルト質粘土		硬質粘土。下砂混り 粘土	11.25	17	5	5	7						P-15	
16							12.50m以下。粘土混り砂 砂は中砂にて。粒子均一	11.55	30	10	10	10						P-16	
17							所中砂多し混入 所中砂多し混入 含水中位	12.00	49	7	13	22						P-17	
18								12.30	30	10	10	10						P-18	
19								12.75	60	30	30							P-19	
20								13.00	18	10	8							P-20	
21								13.25	60	37	23							P-21	
22								13.50	18	10	8							P-22	
23								13.75	60	32	22							P-23	
24								14.00	16	10	8							P-24	
25								14.25	60	33	27							P-25	
26	20.06	16.00	3.80		砂	黄灰		14.50	15	10	8							P-26	
27								14.75	60	31	27							P-27	
28								15.00	17	10	7							P-28	

添付図 6-2 吹田高野台住宅
事業区域ボーリングデータ(13)

備考 注1) 試料採取方法の記号 T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー D: デニソン型サンプラー
 注2) 原位置試験方法の記号